



<harmony/>

ハ ー モ ニ ー

原作＝伊藤計劃／

Project Itoh

漫画＝三卷文

<harmony/> Project Itoh
Minato Fumi

2

<harmony/>

ハ ー モ ニ ー

<harmony/> Project Itoh

Minato Fumi

原作＝伊藤計劃／Project Itoh

漫画＝三巷文

TABLE OF CONTENTS

<harmony/> Project Itoh
Minato Fumi

<part:number=02:title=A Warm Place/>

11
3

12
25

13
39

14
59

<part:number=03:title=Me, I'm Not/>

15
79

16
107

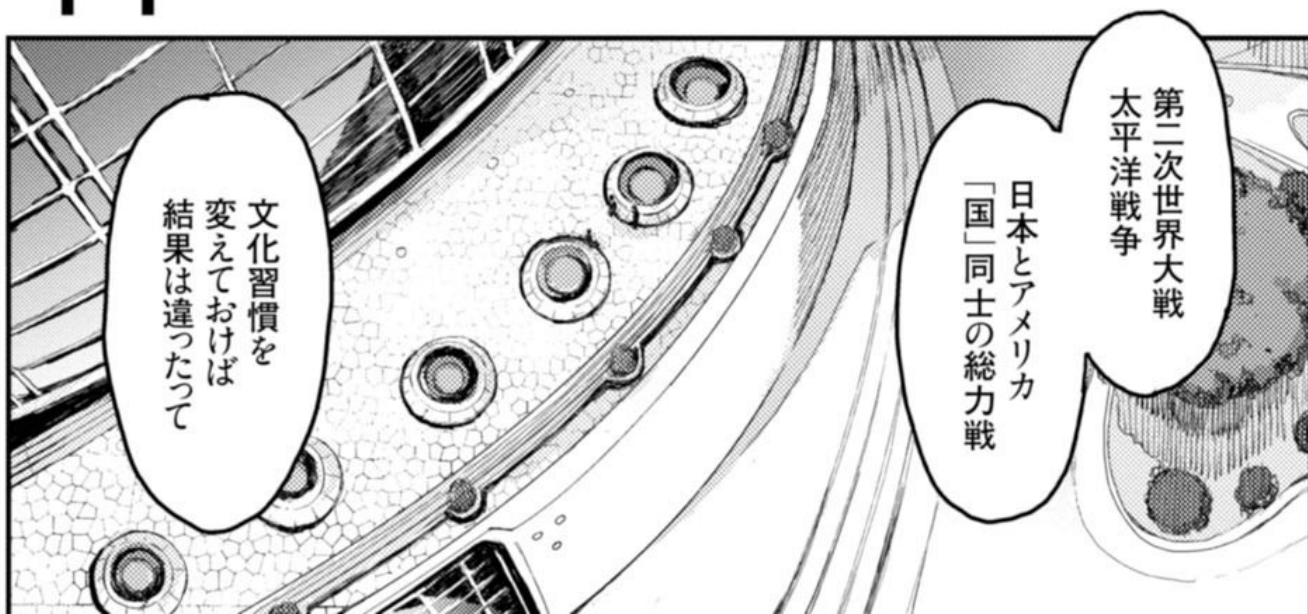
17
121

18
137



<part:number=02:title=A Warm Place/>

11





ほっぺに
ついてるよ
ご飯粒

ミアハ



アメリカ：
合衆国だったっけ

日本ももう
あつてないような
ものだけど

そう
アメリカが（大災禍で
ばらばらになる前の話



ミアハのお弁当って
独特だよ

ご飯ばかりだし
お弁当箱もすっごく
大きいの



ん……

あら

そう



それにこのくらい
食べないと
頭が回らないの

褐色脂肪細胞が
多くて
すぐ熱に変えて
しまうから

温暖な場所じゃ
非効率的ね



うん

ご飯
大好きなの



じゃあ
献立なんかも
自分で考えて
……

そう

というか
自分で
作ってるの



小さい頃はうちも
母さんが自分で
献立を考えてくれ
てただけだな

いつからだっけ
変わっちゃった



外注外注ね

それこそ
材料の発注から
調理の仕方



すごい

お父さんやお母さんに
作ってもらってた
って

ライフデザイナーの
レシピ通りなのに





ねえ
何でお昼にご飯を
食べるか知ってる
……

破廉恥な味を
好むことがないように
つてね

そのお弁当にも
教育的配慮が
されている



見たことある

こんな食べ物は社会から
なくしましょうつて
メディアチャンネルで

妙に茶色い料理
ばかりの



お腹が空く
からでしょ



いつもお腹が空こうが
その人の生理で
いつ食事しようが
その人の勝手

授業中に
食べたつて
いいと思わない
……



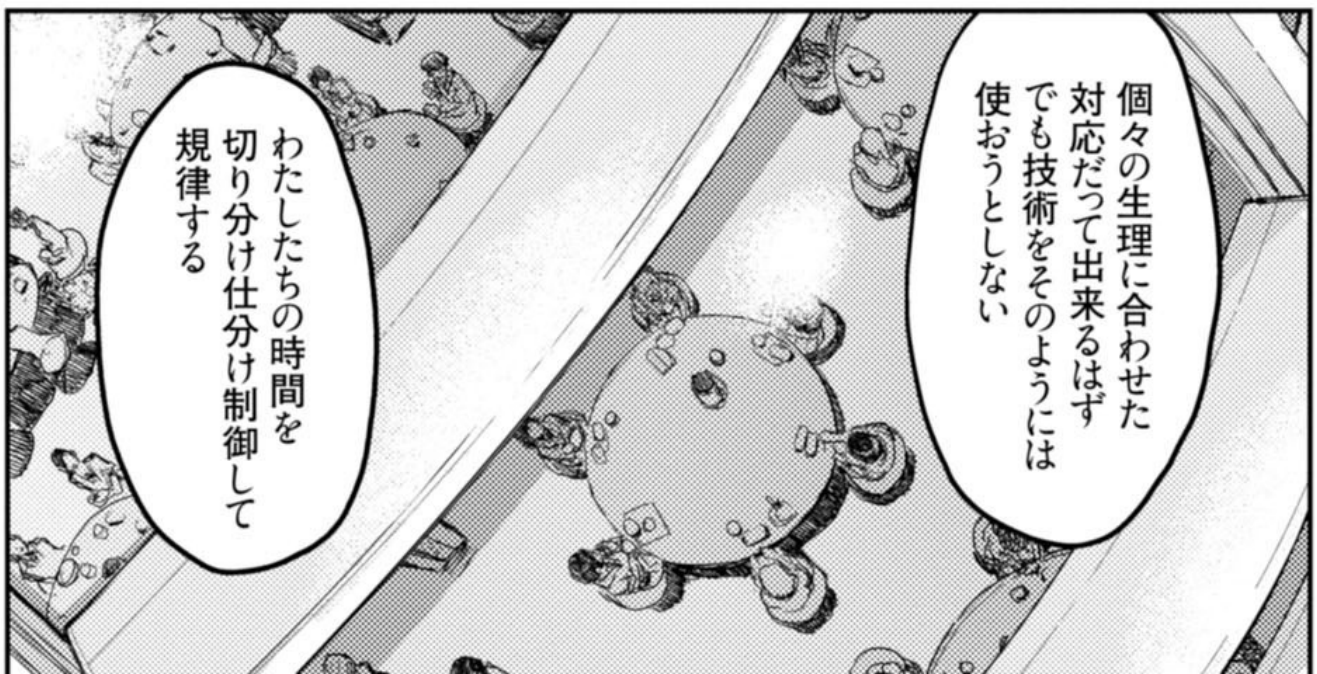
キアン

あなた全然
空いてなさそう
だけど

ああ
そっか



わたし
お腹が空くのつて
いつもたぶん
2時くらいなんだ





定められた目標の
融通が利かないほど
弱い人間はそれを
守りたがる



生活パターンデザイナー
なんて生命主義以前は
存在しない職業だったし

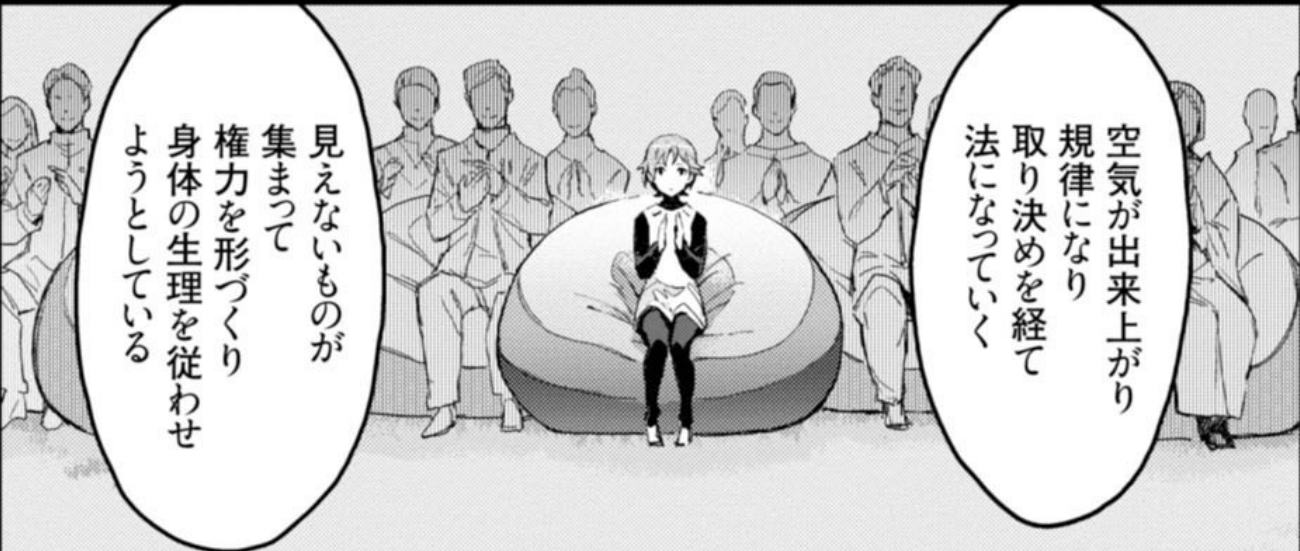


最近までその助言は
あくまで助言に
すぎなかった



この社会を一個の巨大な
病棟に例えたことがあった

昔の人たちも入院中は
さすがに不健康なことを
しようとは思わない
病棟にはそんな空気があった
だから例えに適してたのね



空気が出来上がり
規律になり
取り決めを経て
法になっていく

見えないものが
集まって
権力を形づくり
身体の生理を従わせ
ようとしている





でも
ここも充分
狂っていた

人間が生きるための
場所じゃないって
気がついた

優しさに
殺される社会

ひどい話だよね



ミアハ
やっぱり
堕ちて来ちゃった
天使なの……

そ…







その人の情報が全く
分からないなんて
怖くなかったのかな

不気味だよ

個人情報ばむしろ
知らせないもの
だったんだ



キアン

プライバシーって言葉
昔は今と違って
エッチな意味は
なかったんだよ



その紙に書ける
だけの情報を

手渡せる範囲
だけの人に

それで充分
だった



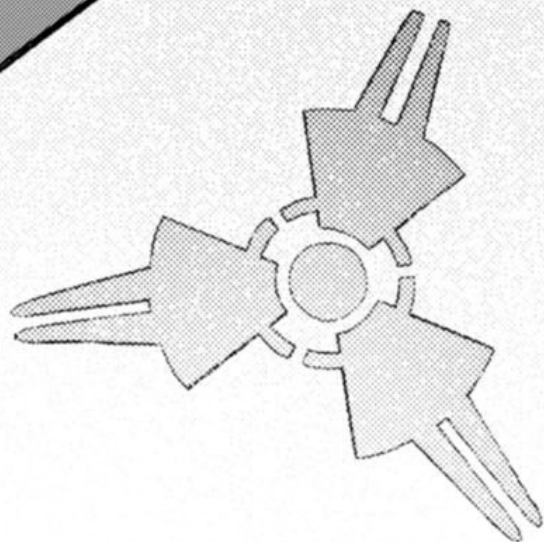
そうでしょ

絶対気に入って
くれると思った



かわいいね
これ

ちっちゃ
くて



二人に
受け取って
欲しかったの

拡現のプロフ
なんかより
わたしは好き



お手製なんだ

すごいね
絵も描いてある

このマーク

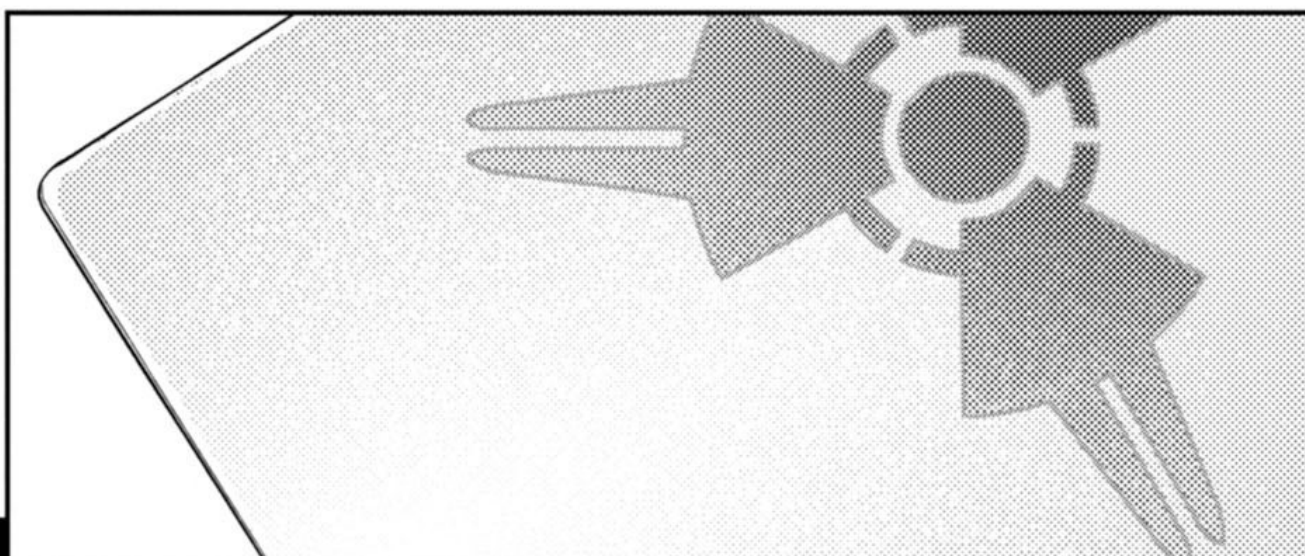


そう
わたしたちのマーク

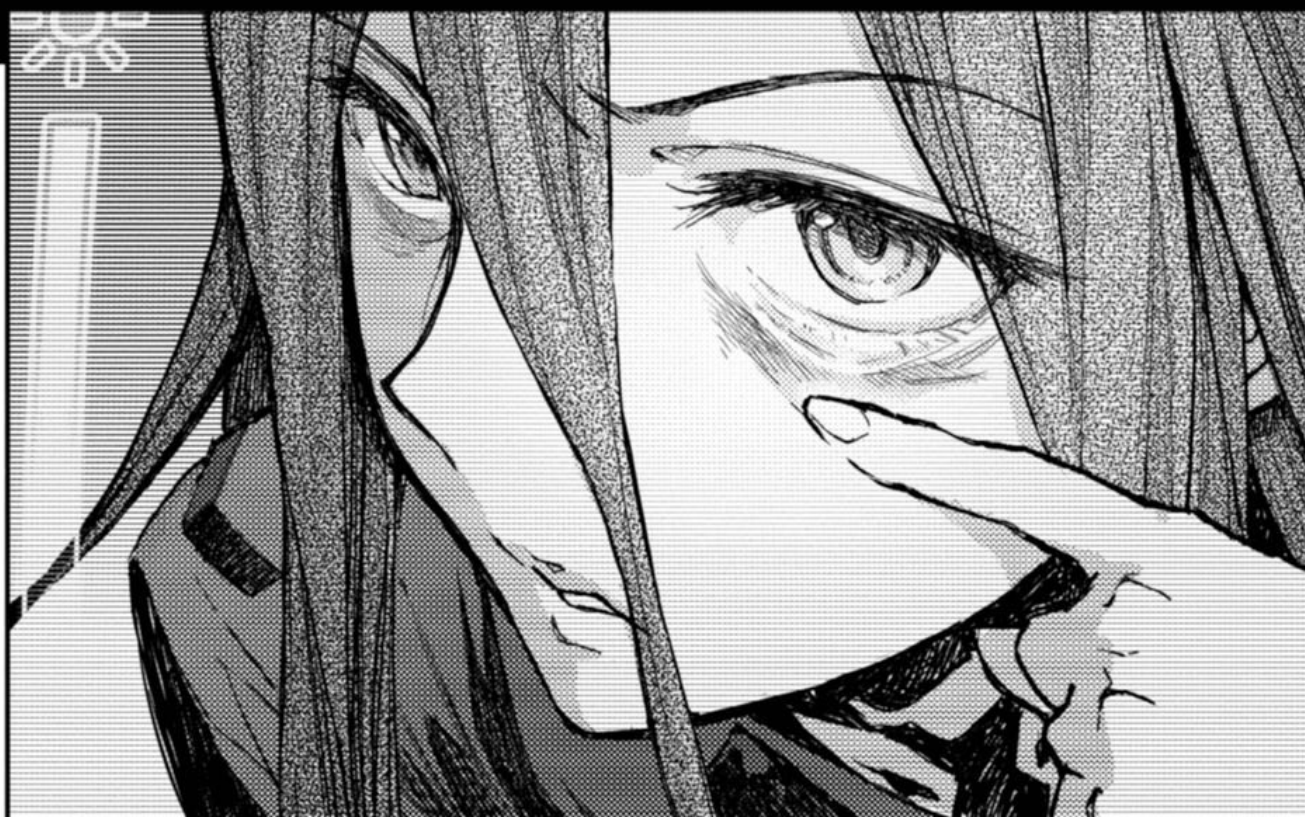


わたしとキアン
それにトアン

三人同志の
マーク



</recollection>





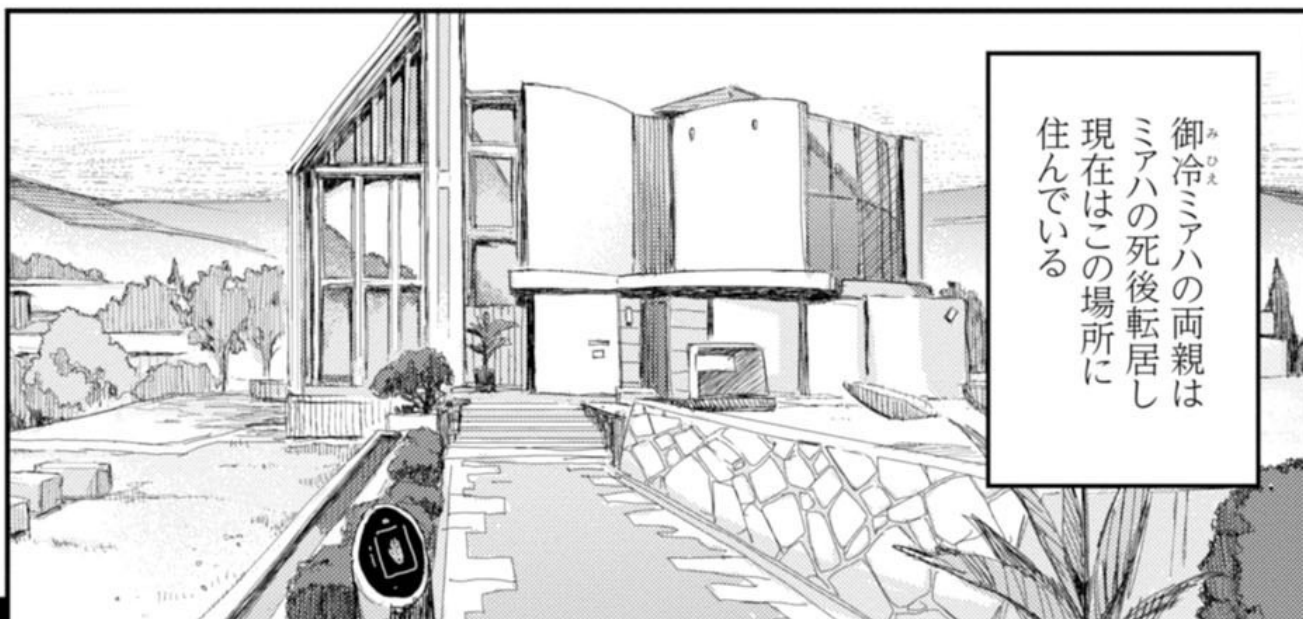


そんな住宅地を
割り当てられる者の
数は限られている



郊外型住宅は
広く
景観も美しい

住民が少ない分
つながりが密な共同体と
暮らしを隙間なく
見守るSecCam



御冷^{みひえ}ミアハの両親は
ミアハの死後転居し
現在はこの場所に
住んでいる





誰も下手なことを
出来ないように

世界に
自分を人質として
晒してるんだね



プライバシーって言葉には
個人情報の開示を限定する
という意味がなくなつて

セックスとかエッチな
意味しかなくなつて
しまった



そうだよトアン
そのとおり

そうして
この社会は安定と
平和と慎み深さを
保ってるんだ



病棟は
拡がり続けてる

掌握されるのは
いまや
生きることそのもの



</recollection>





<harmony/> Project Itoh



<part:number=02:title=A Warm Place/>

12

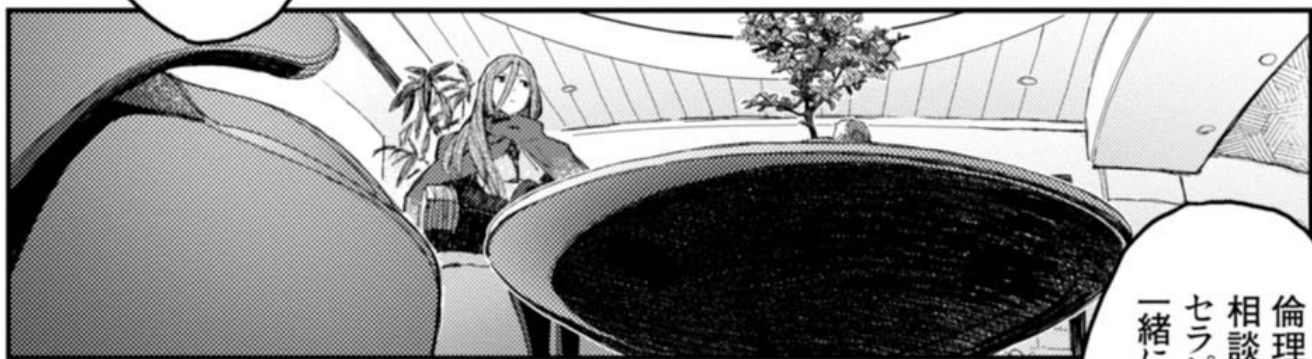




大事な身体を
まさに大事だから
という理由で
傷つけているよう
でした

わたしたちはあの子が
健康に育ち
立派な社会リソースに
なつてほしいと

精一杯の愛情を
注いだつもり
でした



倫理センターにも
相談しました
セラピーにも
一緒に通いました



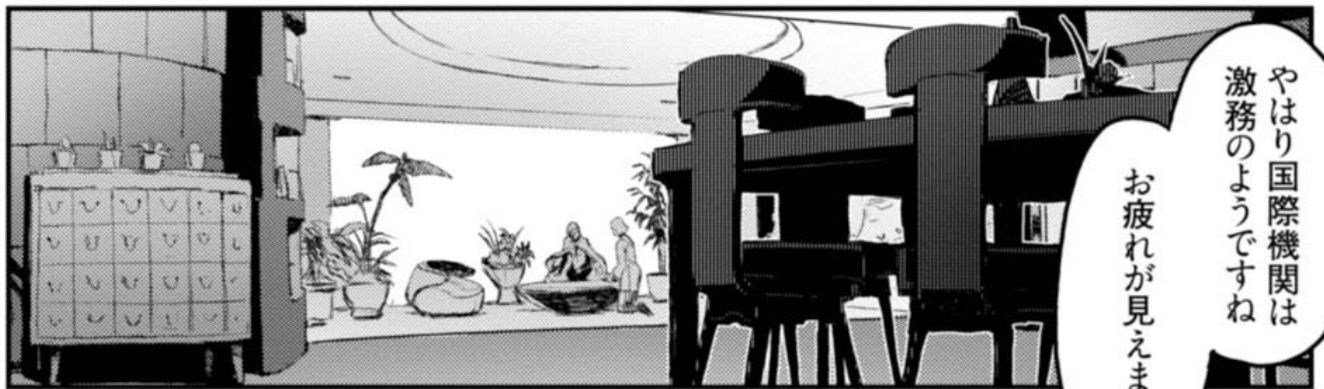
コミュニティの方々も
親切に何度も
セッションを開いて
くれました





はあまあ

お飲物
ラベンダーの香りは
好きですか



やはり国際機関は
激務のようですね
お疲れが見えます



極めて普通な
家庭だ

生府社会は
ラベンダーの香りで
出来ている



リフレッシュの
効果があると
聞いています

どうぞ

あのミアハを
育てた家庭とは
とても思えない

むかし
チエチエンのあたりで
紛争があったでしょう
……

はあ
今も
続いていますか

そうでしたか
その方面のニュースは
フィルタリングで
疎くなつてしまつて

プロファイリング
シートに基づく
心的管理

そういう方は
よくおられます

ニュースには
季節の話題ばかり
というタイプ

それが……

ミアハは
養子でした





わたしがこれまで
見てきたような
戦場に……



そういえば
たしかに

地獄から
逃れてきたと



ああ

これは
……

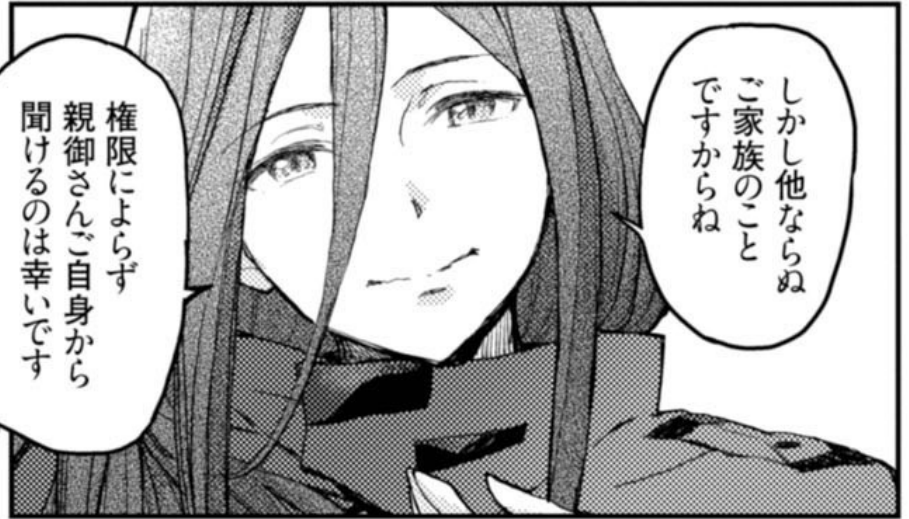




いずれ調査することでしたので
ご心配は無用です

ジュネーブ条約を
ご存じでしょうか
わたしたちには
最上位の捜査権限が
与えられる

御冷さんの生府も
批准しています



しかし他ならぬ
ご家族のこと
ですからね

権限によらず
親御さんご自身から
聞けるのは幸いです

どうぞ続きを
聞かせてください



最初は良かったんです
わたしたちもうまく
接せられていると
思っていました

けれど
十二歳の頃から
あの子は
何かに憑かれたように
自身を傷つけはじめ
ました



そうしてあるとき
栄養摂取を阻害する
薬を手に入れた

何人かの
お友達と一緒に
拒食で死のうと
したんです

一見普通に食事を
していましたし
健康管理アプリも
正常を示していました

良からぬ兆候に
気づいたときは
重要な一線を
超えていました

かわいい
ですね
とても

八歳の時の画像です
この子を
うちに招いた頃です

子供のできない体質だと
診断されていたわたしたちは
この子を迎えられるとき
とても喜びました

ずっと健康で
均質な将来が

一変して波乱で
華やいだものにな
ったように
思えました

衝突区域では
悲惨なことも
あったようです

でも生府の担当者は
心的外傷は重セラピーで
治療してあると
おっしゃってたんです
あとは温かい家庭を
与えてあげるだけだと



わたしたちはそれを
与えられなかった
のでしょうか



でも

自分の想像力の外に
子供が出て行つて
しまつたら

親はどうすることが
できるんでしょう



あの子はわたしたちの
想像の及ばないところで

わたしたちの感じることも
できない理由で
苦しめられていたんです

声なき叫びを
あげていたんです



苦悩をセッションなどで
共有することは皆が
普通にやっていることだ



それができなかった
者たちは――



内部から見守る視線は
心強いものです



すみません
取り乱してしまつて

WatchMeが警告
してくれました

守るべき精神状態の閾値を
オーバーしてるって



WatchMeが拡張上で
警告してくれるわ

血圧心拍血中ホルモン
あらゆる計測値から
察するに

あなたの精神状態は
対人上適切なものでは
ありません



医療分子の発明は
身体と規範とを
同一のテーブルに
並べてしまった

この社会は当然に
自分を律することも
外注に出している

ミアハさんのご遺骸は
地域の墓地には納め
られていないようでした



供先を指定しません。
供先は以下の者にします。

を受ける者
京健康情報大学大学院・統合生体分子機能
研究員・冴紀ケイタ/
共同研究員・霧慧ヌアザ

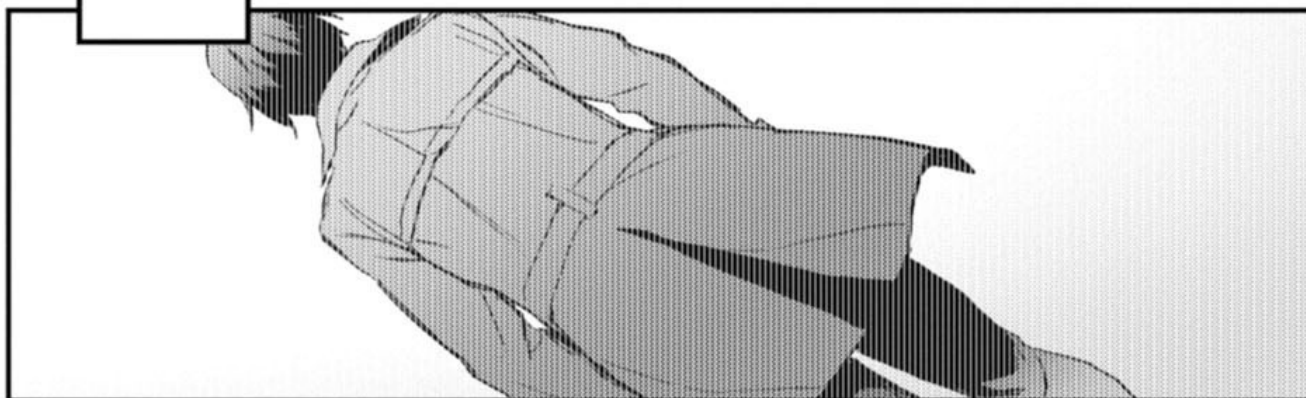
選することを願
きを行う者

受領者

霧慧ヌアザ



中東の医療都市
バグダッドにある
研究施設とは
聞いています



——
父さん

<harmony/> Project Itoh

<reference:thesis:id=stid749-60d-r2yrui6ron1>

<title>「医療分子（メディモル）群」と可塑的製薬用分子「メディベース」を用いた人体の恒常的健康監視（ホメオスタティック・ヘルス・モニタリング）の可能性について</title>

<author>研究者：霧慧ヌアザ</author>

<author>共同研究者：冴紀ケイタ</author>

</reference>



<part:number=02:title=A Warm Place/>

13





ふーん

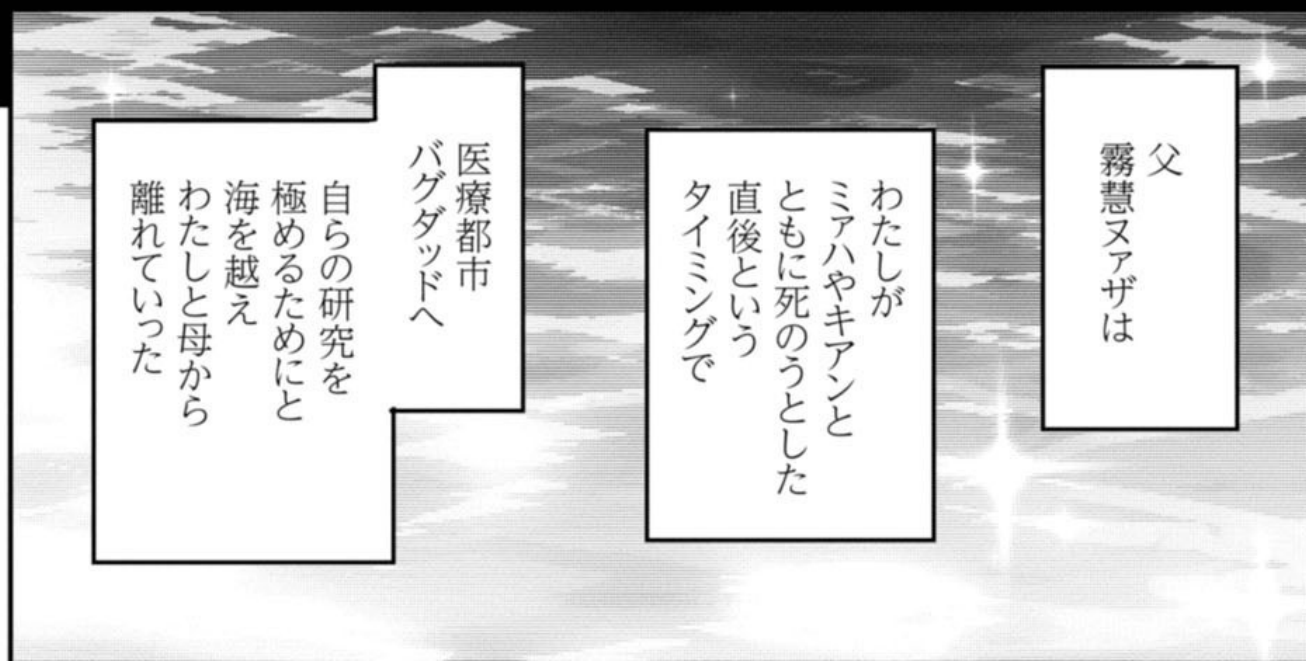
そっか



恐る恐るの告白
だっただけに

拍子抜けした

ミアハはそんなこと
気にしないか
興味がないんだ
と思っていた

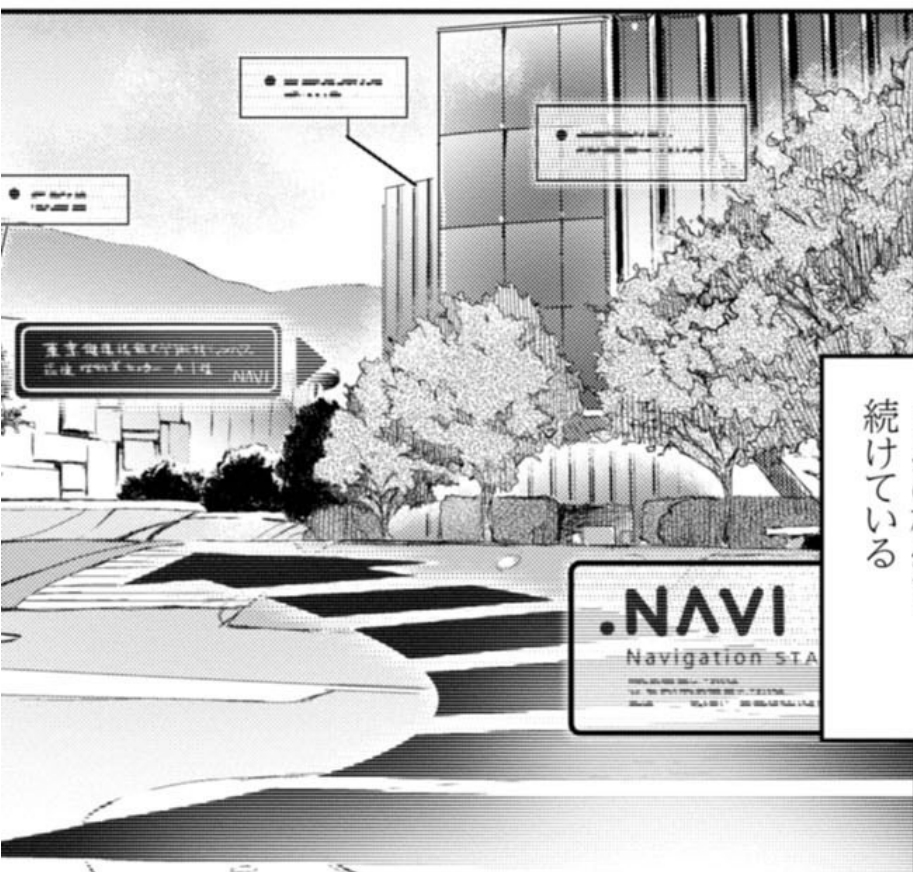
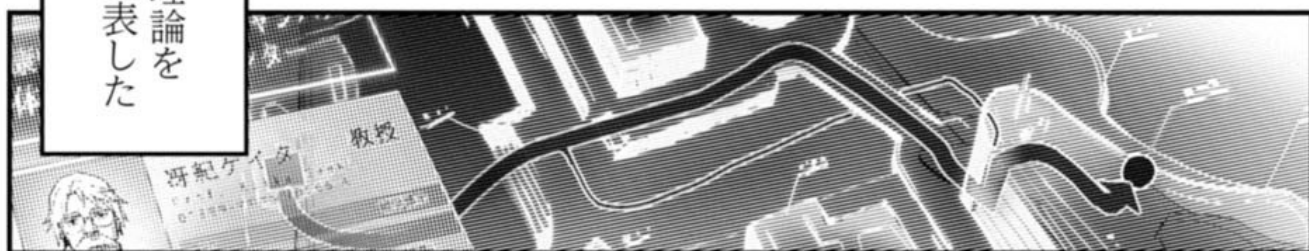
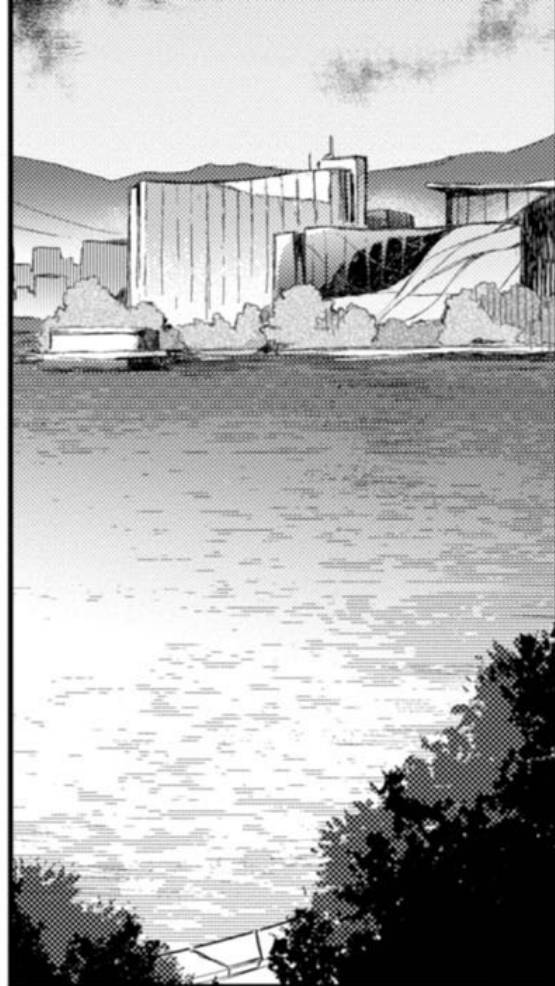
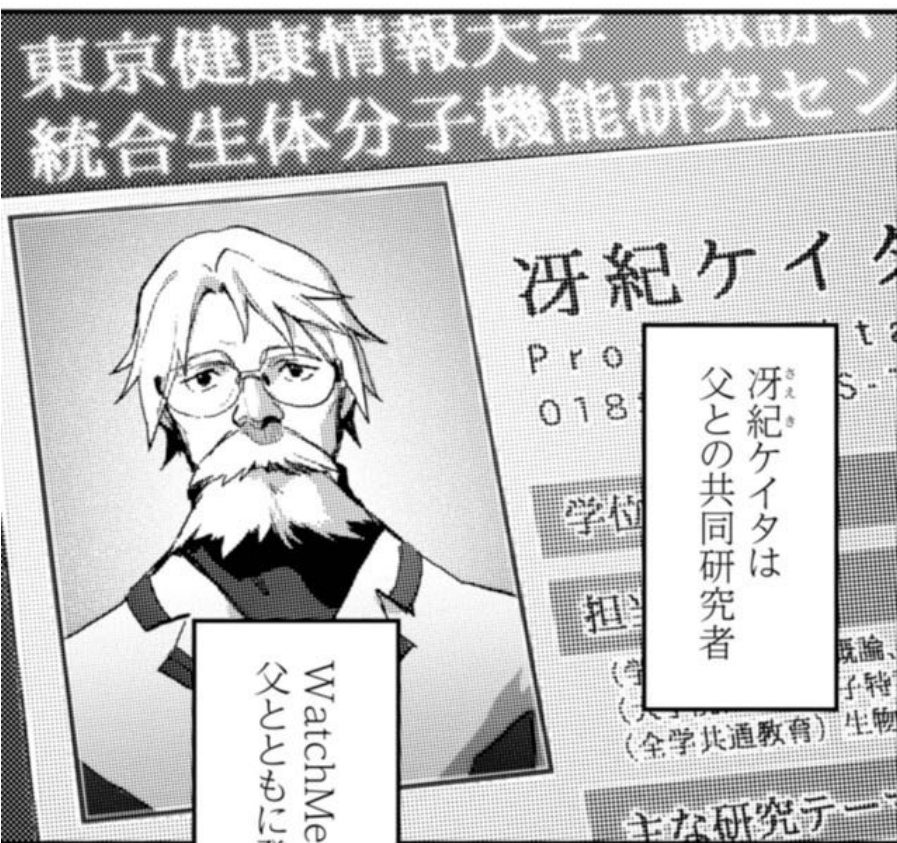


父
霧慧又アザは

わたしが
ミアハやキアンと
ともに死のうとした
直後という
タイミングで

医療都市
バグダッドへ

自らの研究を
極めるためにと
海を越え
わたしと母から
離れていった







〈大災禍〉から
もう半世紀です
けどね

その時酷い目を見た
七十代八十代がまだ
現役だろう



ここまで極端な社会が
できるとはな
予想できなかったよ

気を抜くとすぐにでも
癌やウイルスに制圧されると
思ってしまったている



しつこく
教えられましたよ

北米大陸だけで
一千万人以上の
命が奪われた

パクス・アメリカーナ
世界のある面における
平和と秩序を引き受けていた
超大国が一転
混乱と武器の流出元になった

まさかという
出来事だったんだよ



まあ仕方がない

なにせ
絶滅の恐怖だ

君ら世代にや
実感出来んだろう



多様な民族が
混在する国だったが
その民族が互いに
殺しあったんだ

皆が皆
虐殺するための器官を
生得的に持っているかの
ような虐殺ぶりだった

混乱は世界に波及し
核弾頭は流出するわ
その核を使ったテロまで
起こる始末



混乱と核戦争は
人間の住む地上を
宇宙空間に変えた

宇宙服なしには
生存できない

つまりWatchMen
メデイケアだな



わたしらの考えた
ちっちゃなやつらは
よくやったと思わなかね

社会的結合の旗印
でもあったろうがね

慈愛に満ちた社会に
息苦しさを感じても
〈大災禍〉みたいな大混乱
よりましだ

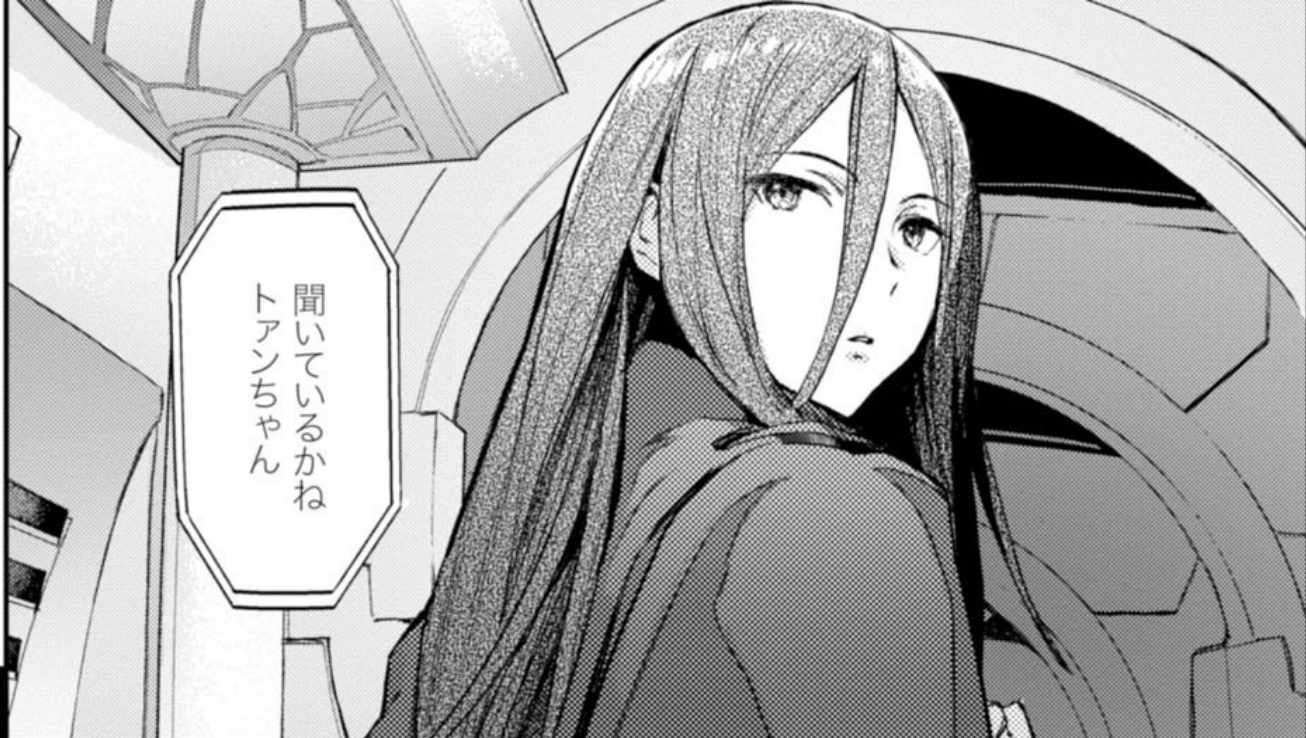
命は守られるし
権力や富が独占される
ようなこともない





<inspiration>





聞いているかね
トアンちゃん

</inspiration>



高校時代に
聞いた言葉です

財布は向こうで
見かけますが
貯金箱は見たこと
ないですね



いずれ良い頃合いを
見つけることだろうよ

自殺率の指数的上昇は
生府社会の不安要素だが

それも
的確な療法や制度で
解決を得るだろう



限界なんじゃ
ないでしょうか
過剰な慈しむ社会は

リソース意識という規範
社会がそうあれという
内なる規範に耐えられない
人々もいます

まあ
この煩わしい肉体を
捨て去るなんて将来も
あるのかもしれない

よくSFであるだろう
精神をデジタル化して
ネットワーク上なりに
移すつてのが

そうすりゃ肉体は
ここらにある
デッドメディアと
同じだな

さて

世間話に來た
わけじゃなからう

わざわざ
WHOの官僚が
来るんだ

どんな案件かね
トアンちゃん

御冷ミアハ



うむ

献体を受けた
子だ

研究のために
わたしが
受け取った



ご存じですか



先生のもとには
来ていない

研究計画
講義録にも献体が
使われるものは
年単位で一切
無かった



バグダッド
ですよ

その時期
先生はバグダッドで
研究していましたか

遺体は父が
持って行った

そうでしょう
目的は何です





研究の内容
は……

話さなきゃ
ならんかね

向こうで聞け



SEC脳医学
コンソーシアム

ガブリエル・エーディン
という女性にあたるという

バグダッドでの
スアザの研究助手だった
まだ在籍しているようだ

Gabrielle Etain



腹立たしい
職業病だな

そこへ
座りなさい



教授

日本の警察に
令状の申請を要求
しましょうか……

あまり困らせないで
ください



はあ

かぐや姫もかくやと
育てられとった
トアン嬢ちゃんが
こんなやつに

親があっても
子は育ちます

まあこの役職
だいたい
こんなもんです



は

こいつは
報酬系と呼ばれる
領域の振る舞いに
関する論文だ

は
は

簡単に言うと
人間の意志の在り方
についての新しいモデルだ

これに基づいた
心理シミュレーションは
かなりの精度で
人間の意志を模倣できる

中脳の二部

脳核
側脳

人間の報酬系を
制御する
脳の領域だ

この報酬系によつて
動機づけられた
『欲求』のモジュールが
競つて選択されようとし

調整によつて
最終的に下す決断を
『意志』と
呼んでいるわけだ

分かりやすく
例えよう

丁度いい
資料があつた



会議を想定しろ

いろんな人間が
あだこうだと
主張を通そうとする

『欲求のモジュール』は
そんな会議の出席者だ



人間ってのは本来
バラバラな断片の集まり
だというのに

ひとつのタマシイとか
そんなようなものを
錯覚してしまう

おめでたい生き物なのさ



こいつらが
侃々諤々やつて
結論を出す

人間の意志というのは
この会議全体の
プロセスを指す



並列処理なんだ

常識的に思いがちな
「わたし」という
ものが在って
直列演算して
いるんじゃない

わたし





問題は実現する
ためのツールだ

脳内に医療分子を
送り込む手段

ヌアザの研究は
そこだ



脳血液関門
ですね

それも
課題のひとつ
ではあるかな



欲求は報酬とがっちり
結びついている

報酬を細かく制御することで
「脳内会議」における
欲求モジュールの
イニシアチブが変わる

意志が変化
していくんだ



社会構成員に
規範や規制によるのではない
制御された意志を持たせる

社会にとって
完璧な意志を
持つ人々による
完璧な調和

その端緒を
この集中医療社会は
手に入れたというわけだ



問題は
意志を制御する技術が
あったとして
それで何をやりたいか
です

あるいは
何をやらかしたのか



人間の魂をいじる

こいつは
魅力的な研究だ

手を出すなというのは
酷な話さ



多分
多分だが

そういう
目的なんて
持つちやいないよ



ただそこに
科学的関心があるから
研究するもんだ

科学者の業でね
わたしにも
理解できちまうんだ

あいつが
妻子を放つてまで
バグダッドへ行つた
理由が

<harmony/> Project Itoh

体内受話で会話する時
歩きながらも足元を
疎かにしないようにと

多くの人は
うつむき加減で話す



習性として
座っている時も
うつむきがちに通話する

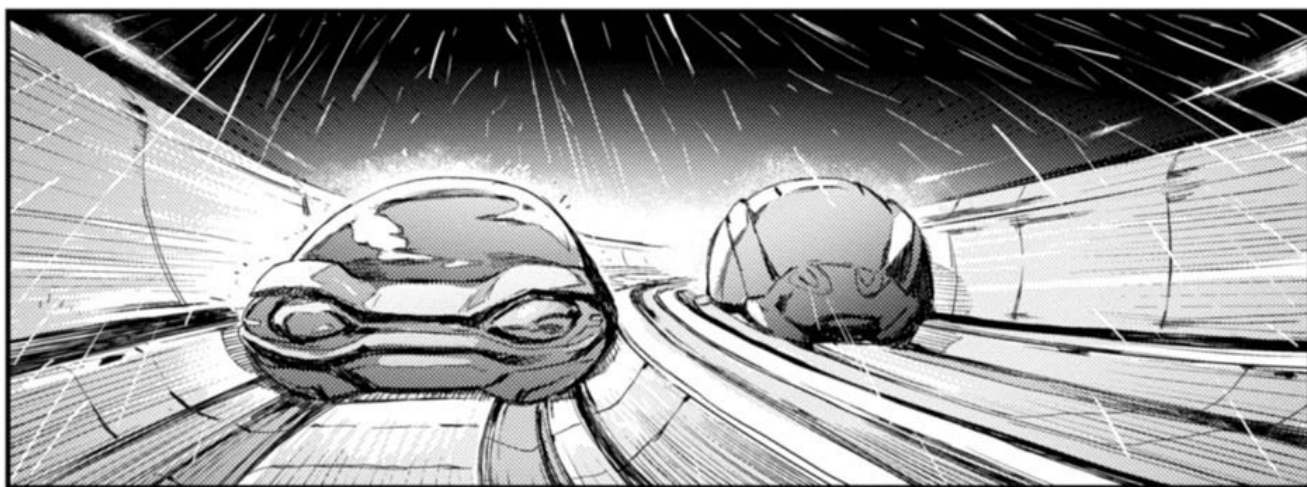
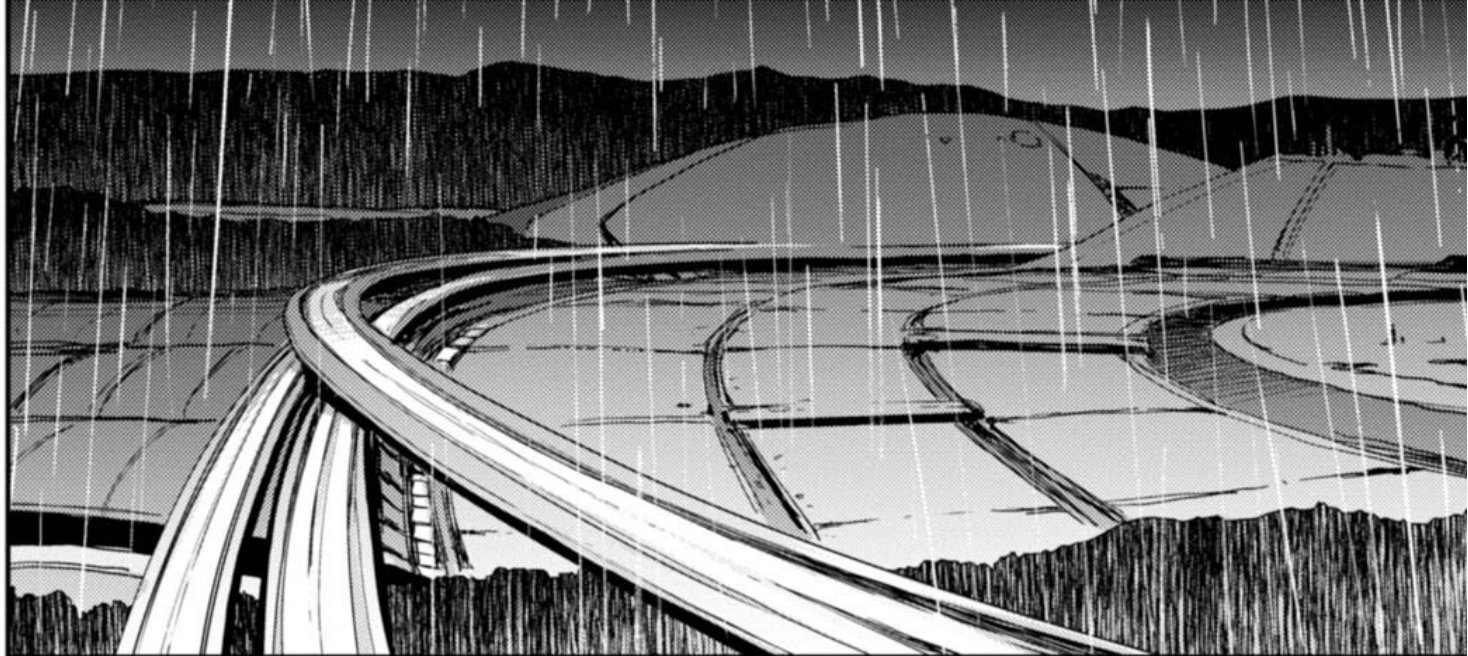


まるで
内省するかのように

じっと一点を見つめる



<part:number=02:title=A Warm Place/>





キアン
聴こえてるよね

13
年ぶりだね
ひさしぶり

PHONE LINK

__ (ID情報がありません) __
__ (位置情報がありません) __

19:34 00'03"

00/00 00/00 00/00

通話中

PHONE LINK

__ (ID情報がありません) __
__ (位置情報がありません) __

19:34 00'05"

00/00 00/00 00/00







人間のからだは
そんなふうには
できていない

ミアハの声だ
ミアハの思考だ



でも
永遠に続くもの
なんてない

そうだよ



人間は成長する
人間は病気になる
人間は死ぬ

自然には
善も悪もない

すべてが変化し
いつか滅び去る



PHONELINK
通話中

00 / 00 00

だから
善の力で人間が
傲慢になるのを
ギリギリのところ
防いだ

けれど
いまやWatchMen
医療分子のおかげで

病气や老いは駆逐され
「健康」っていう価値観が
すべてを蹂躞しよう
としている

それは
この世界を「善」が
覆い尽くすってこと
なんだよ

キアン

PHONELINK
話中

これほど人間が
「善」に律された
セカイはなかった

空港で言った
宿泊先の件
なんだけど

あれさ
やっぱり



PHONELINK
通話中

これほど人間が
「善」に身を寄せた
セカイはなかった

王様が
治めてた時代は
逆らう奴は
処刑するぞって
脅かしてみんなを
従わせてた

だから
フランス革命は
成功したんだよ



王様を打ち倒せば
それでよかったからね

けれど
みんなひとりひとりの
なかにあるものが
敵だったとき

わたしたちは
どうすればいいの



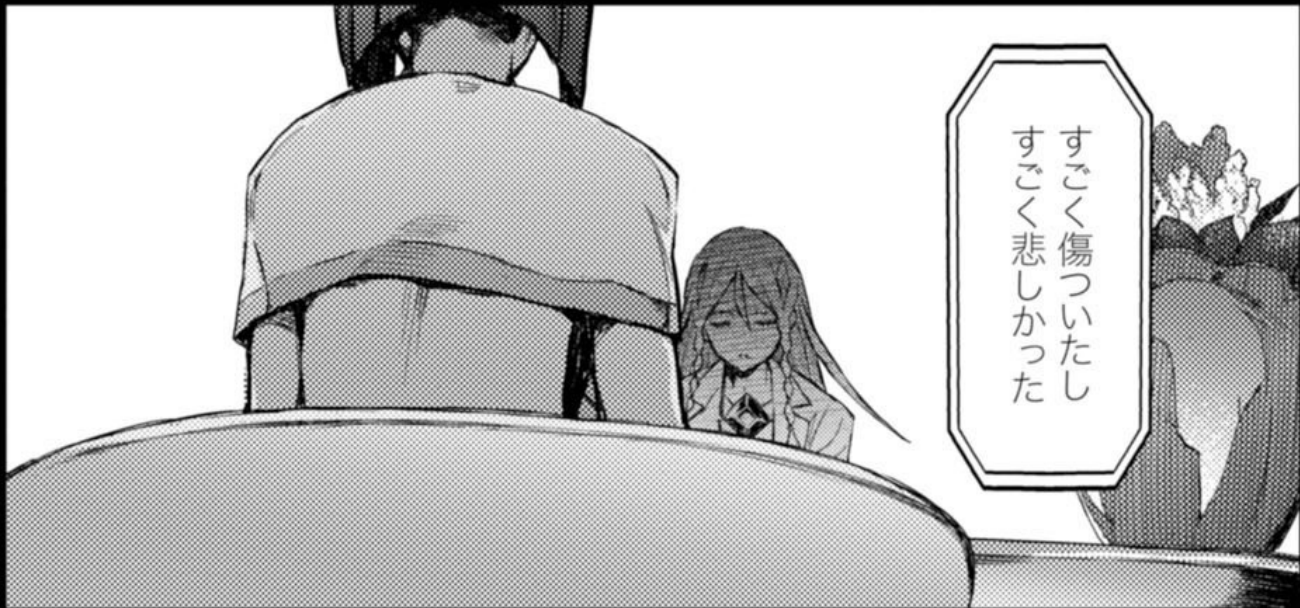
民主主義以降
人々を律するものは
人々のなかに移って
いった



いまの生命主義は
その極限で

同時に
成れの果てでも
あるんだ





すごく傷ついたし
すごく悲しかった



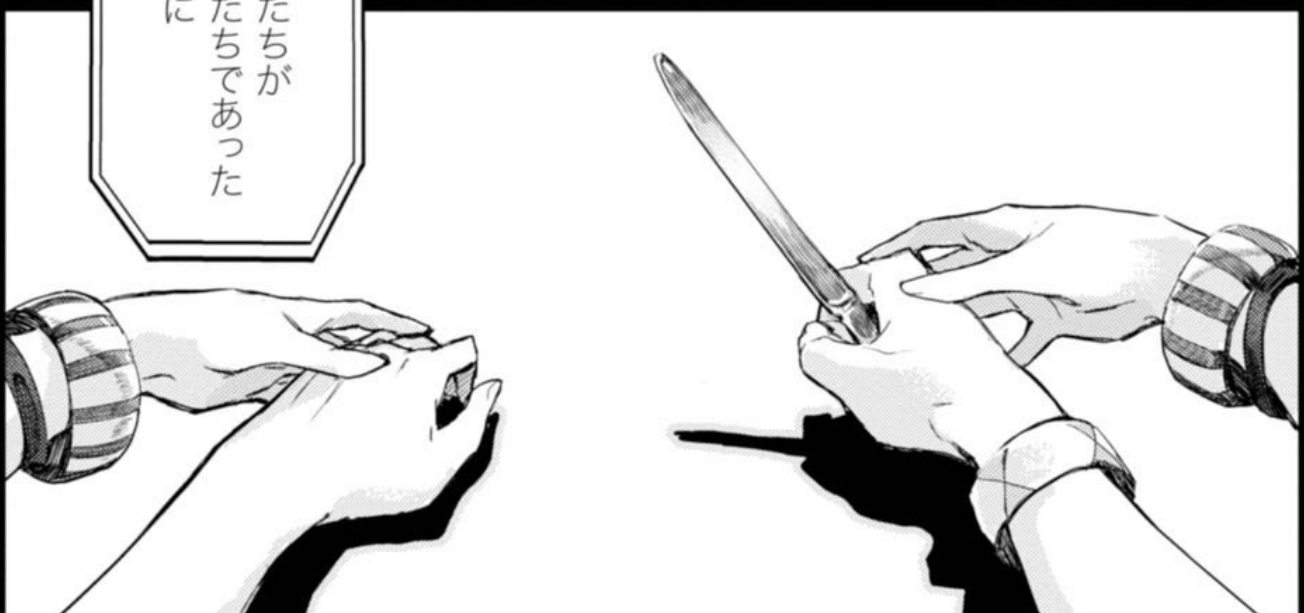
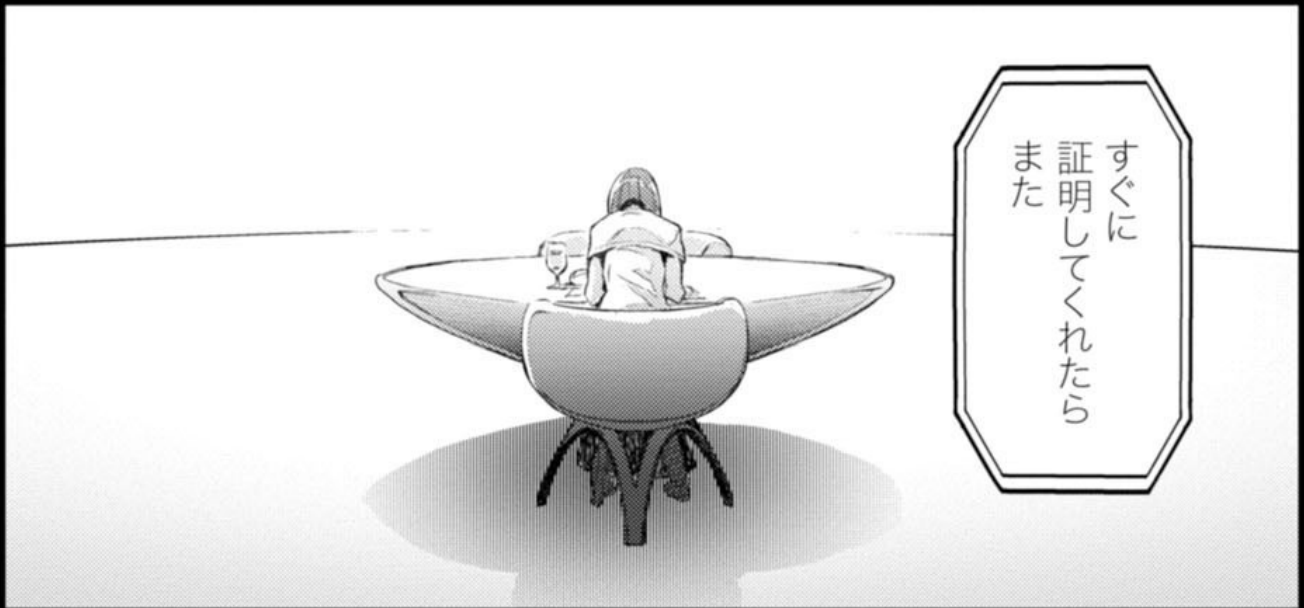
でもね
いまわたしに
その勇気を見せて
くれば

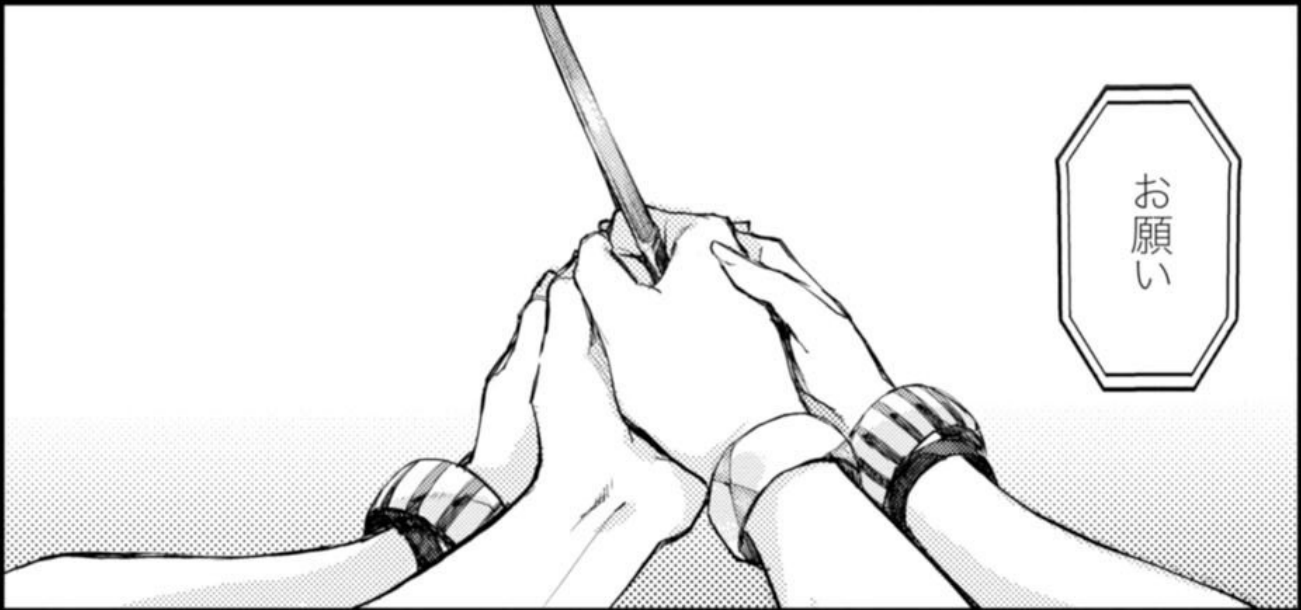
それでいいような
気がする



世界に対して
永遠に続くものは
ないんだって

このカラダは
自分ひとりのもの
なんだって





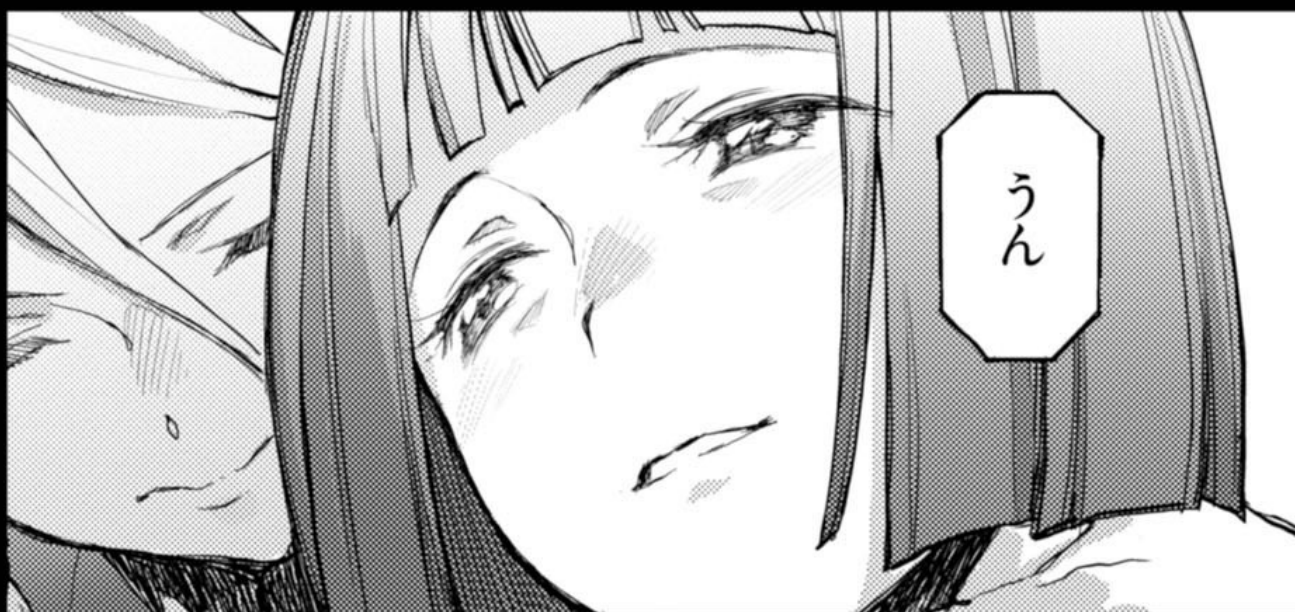
お願い



だから
キアンの勇気が欲しいの



証明できるところを
わたしに見せて



</log>







<harmony/> Project Itoh



<part:number=03:title=Me, I'm Not/>

15





何億という
犠牲者

放射線により変異した
ウイルスが蔓延した
時代

死体の無害化は
至上命令だった



INFECTIOUS
SUBSTANCE



大量発生した死体を
ポリマーコーティングし
分解無害化を待つ



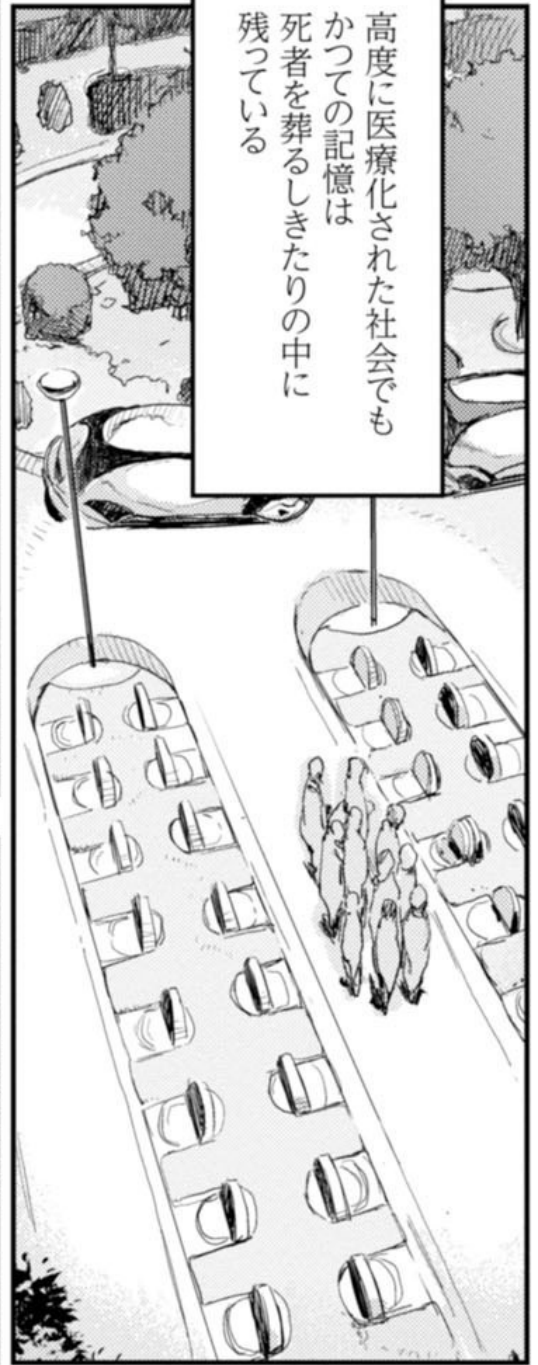
手っ取り早い方法は
今も
設備のない紛争地帯で
まれに用いられる



混沌の遺物

工場
溶かし場
分解センター

死者はより速やかに
安全に分解される

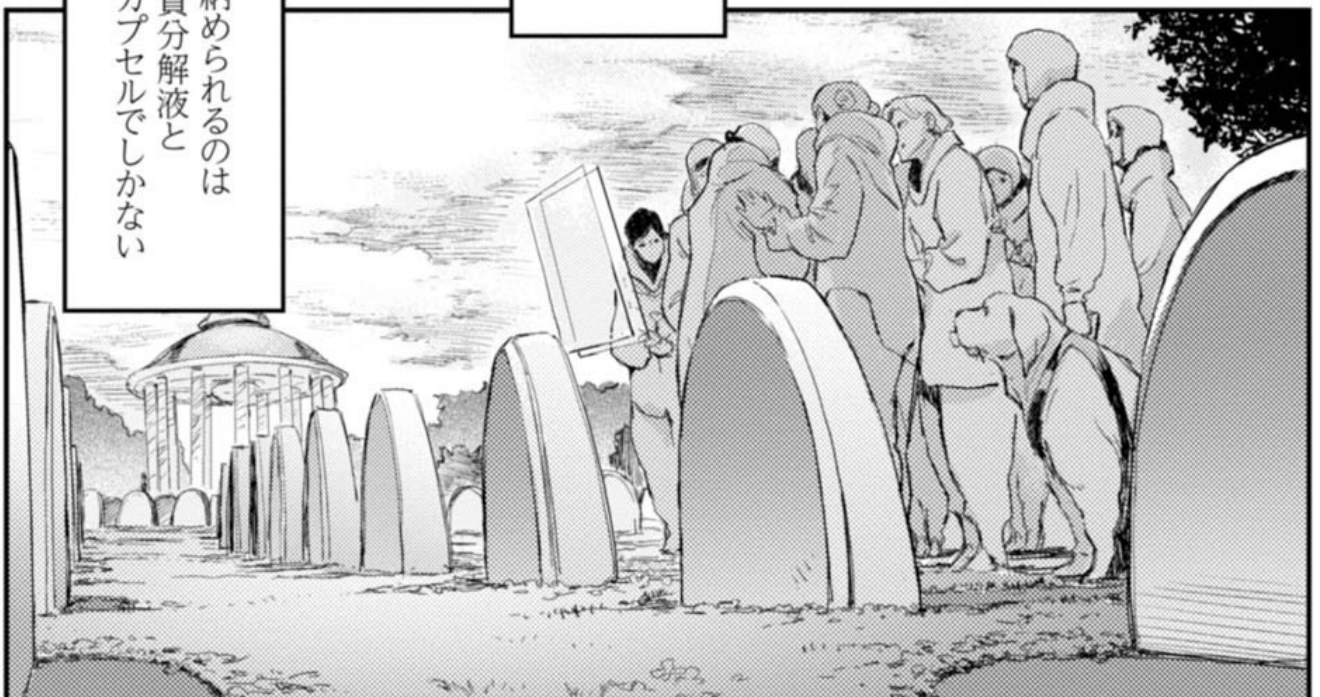


高度に医療化された社会でも
かつての記憶は
死者を葬るしきたりの中に
残っている



パステルカラーの喪服は
かつての防護服を
デザインの基礎としている

墓に納められるのは
蛋白質分解液と
滅菌カプセルでしかない





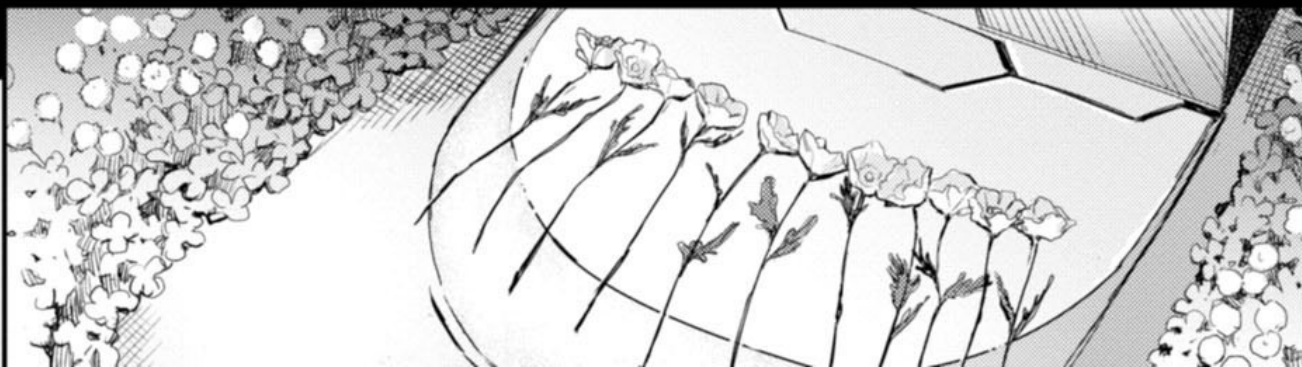
<recollection>







</recollection>





<list:item>
 <i:御冷ミアハ>
 <i:父>
 <i:意識の操作>
</list>

<list:item>
 <i:御冷ミアハ>
 <i:献体>
 <i:phonelink>
</list>



道筋だけは
はつきりしている



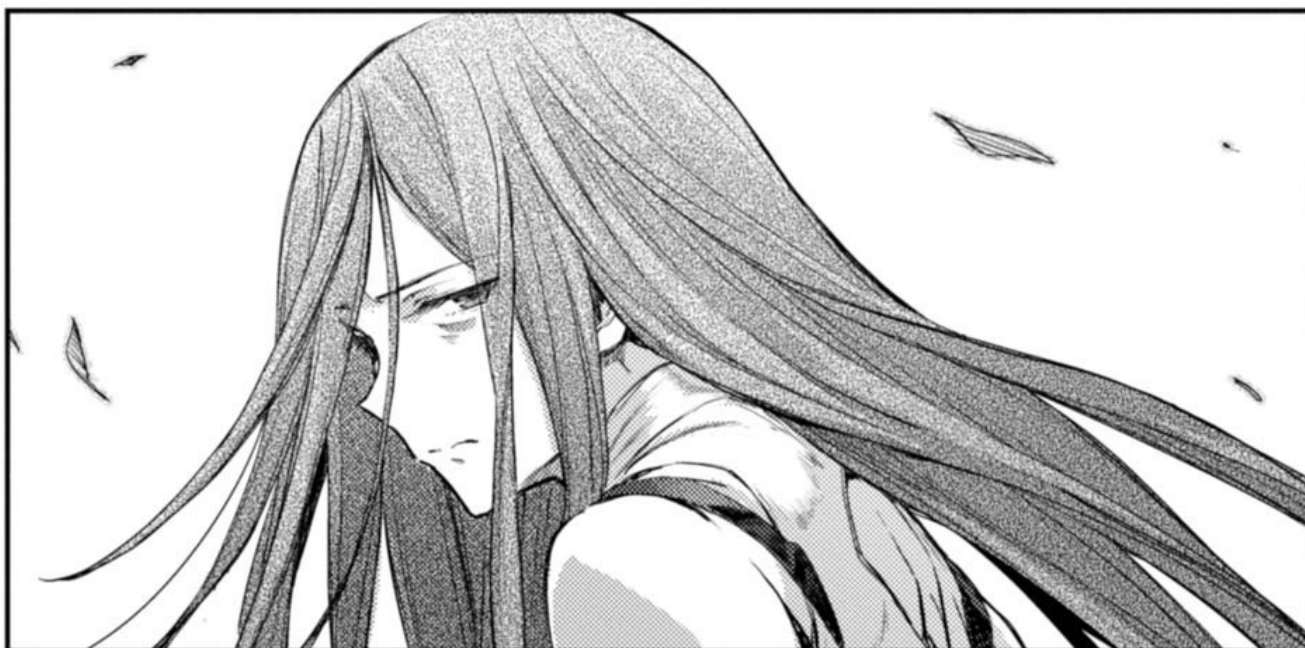
バグダッド
SEC脳医学コンソーシアム

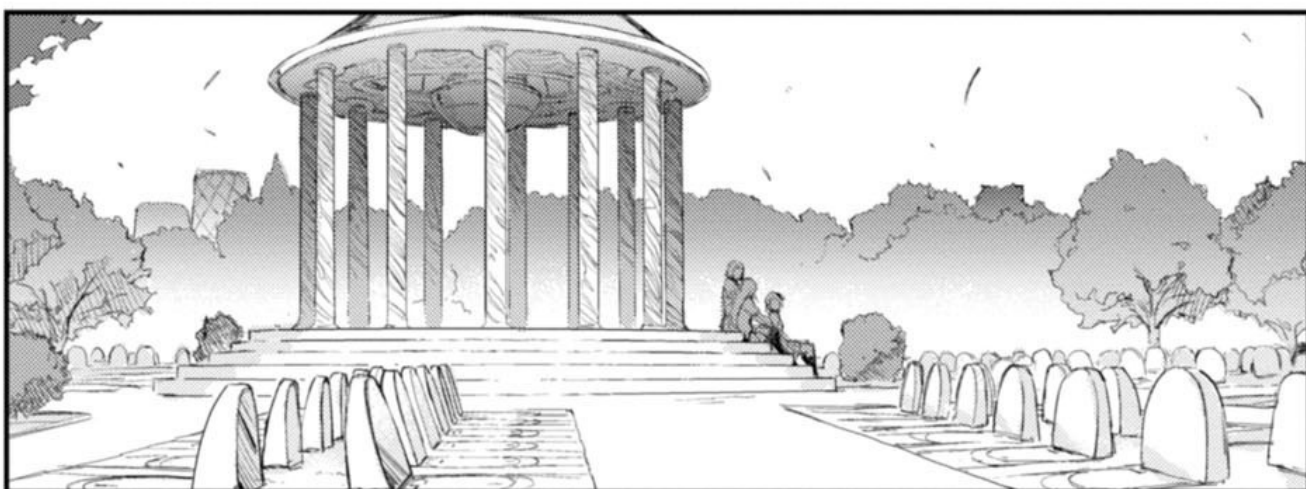
道筋ははつきり
している



良かった

トアンが
生きててくれて





霧慧トアン
上級監察官

PHONE LINK
OsCara STAUFFENBERG

04545-FGRT-78514-1
SOC-RANK +5

Niamey, Niger

13.47807
2.17722

7:14

01'08"

あなた
プロフィールを
偽りましたね



捜査上必要な
行為でした

捜査ね
どうかしら

詳細を
上げてちょうだい

当然分かっている
でしょうね

他者に対する信用が
社会に安定をもたらす

現代日本で暗殺の危険
でもあったかしら



まとめたら
いずれ

すぐに

捜査は確実に
成果を
上げています



言いなさい

ええ

そのように
努めます

いつまでも
ニジエールのカードが
使えるとは思わないことね

ONE LINK
OsCar STAUFFENBERG

Niamey, Niger

7:15

01'4"



そもそも
警察機関に接触
していないようね

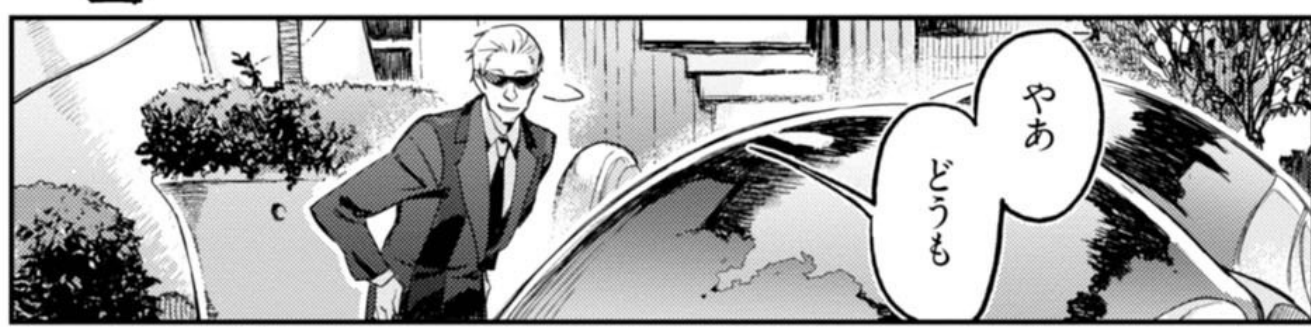
あなた一体
何をしているの

たった今接触する
ところです

失礼します

ちよつと
……

10
11



やあ
どうも



ハンドル付きは
やはりデザインが
異質ですね

こんな都会で
見ると思いません
でした

あえてこれを
チョイスされるのは
ご趣味ですか

それとも
職業上の習性……

用は何……





バグダッドですね

悪いけどオフィスへ
行つてちょうだい
PassengerBidが
予約されてるの



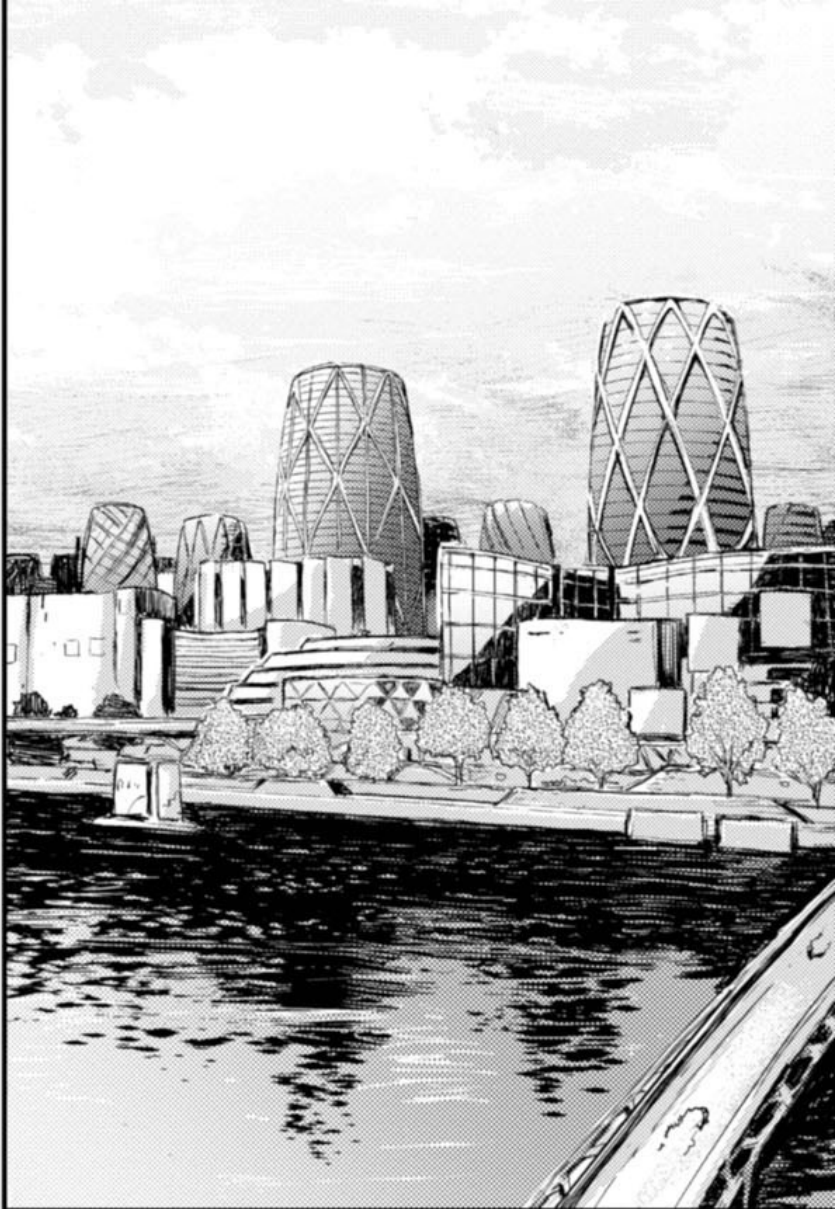
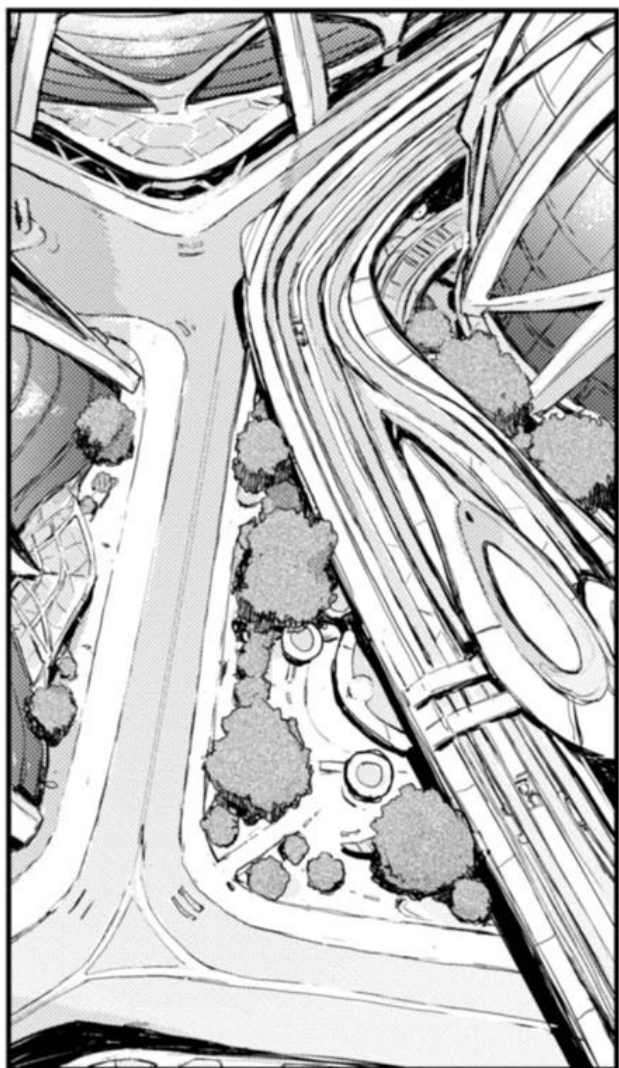
折り入つて
お話したいことが
ありましてね

どうです
辺りをぐるつと
ドライブでも



空港までの道中で
構いませんので

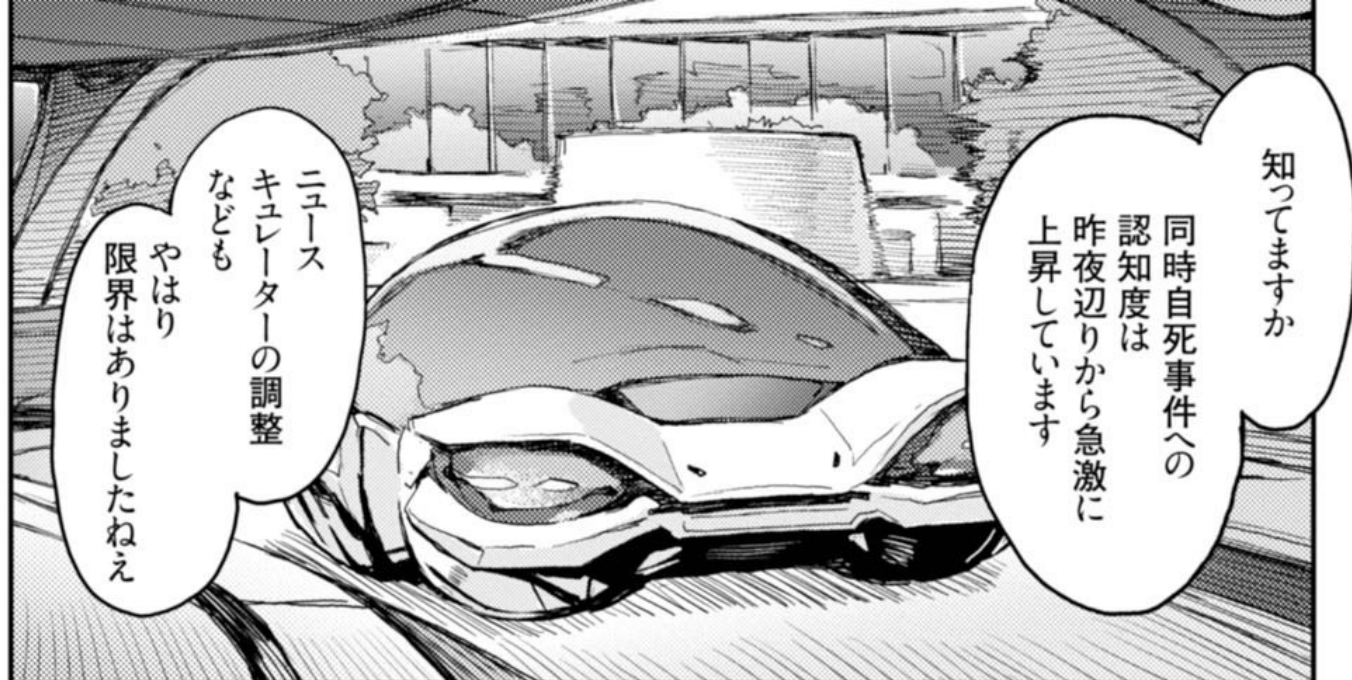
同乗させて
もらえませんかねえ



街も
静かでしたが



道も随分
すいてますね



知ってますか

同時自死事件への
認知度は
昨夜辺りから急激に
上昇しています

ニュース
キュレーターの調整
なども

やはり
限界はありましたねえ



病気に一生
罹ることもなく
嫌なものは一生
見なくて済む

そう思つて
生きてきたわけ
ですからね



皆怯えて
いるんですよ

目の前で誰かが
死ぬことに
それが自分にも
起こりうることに

セラピーは
すでに予約で
いっぱいとか



他者を信用しなければ
ならないという強迫観念

そうして穏やかさを
維持してきた社会

事件によって
この社会のあり方は
ほんの少し歪められた

今日は昨日と
違う日だったと

他者は本来
得体の知れない本質
だったと思い出す

突然目の前で
命を絶つような誰かを
どうして
信用できるだろうか





生府有力者
医療産業複合体のトップ
一部の科学者等を
構成員とする組織です

彼らはWatchMeを
利用して

すべての人類を
監視下に
置こうとしてきた



彼らは

〈次世代ヒト行動特性記述
ワーキンググループ〉と
自らを称しています



人類が再び
〈大災禍〉の混沌へ
帰すことを恐れる
老人たちです

〈大災禍〉の原因に
ついては
諸説ありますが

ともかく人類の脳が
あれほど野蛮へと
還ってしまうことは
実証された



彼らはWatchMen
メデイケアへ
不正に介入し

非常時にはその「穴」から
ある技術を運用すべく
研究していた



どんな技術



スアザは
人間の意志を

制御することが
可能だと
踏んだんだな



まだ
分かっていません

しかし生府のサーバを
通じて人々の身体に
アクセスすることが
できる

そしておそらく
人々の行動思考に
何らかの影響を与える



あの日彼らは
システムの実証実験を
秘密裏に行い
そして概ね成功させた

対象者が自殺する
という
予想外の実証と
なった点を除けばね



当然の反応では
あります

しかし二七九六人の
自殺者が発生した
原因が不明なことに
変わりはない

違いますか



……
インターポールが
陰謀論とはね

どう判断した
ものかしら



あの事件は
不慮の事故だったと
……

可能性はあります
しかし

我々の見立てでは
グループ内に何らかの
対立があったようです



目的を共有しつつも
やり方をめぐって
本グループと対立する
分派のようなもの

それらが

対立の趨勢^{すうせい}に影響を
与えようとした結果が
先の事件だとしたら



まだ展開する
恐れがあると
……

…誇大妄想ね



HANEDA AIRPORT
羽田空港
10



いずれにせよ
我々としては

本状況における
主プレイヤーである
螺旋監察官と個別に
パイプを持つておきたい



インターポールは
WHOが刑事事件にまで
介入してきたことを
快く思っていません

生命主義の権威拡大を
図る茶番劇だとね

それで
わたしという
わけ……





例え話でなく
より露骨な意味での
人質だったわけか



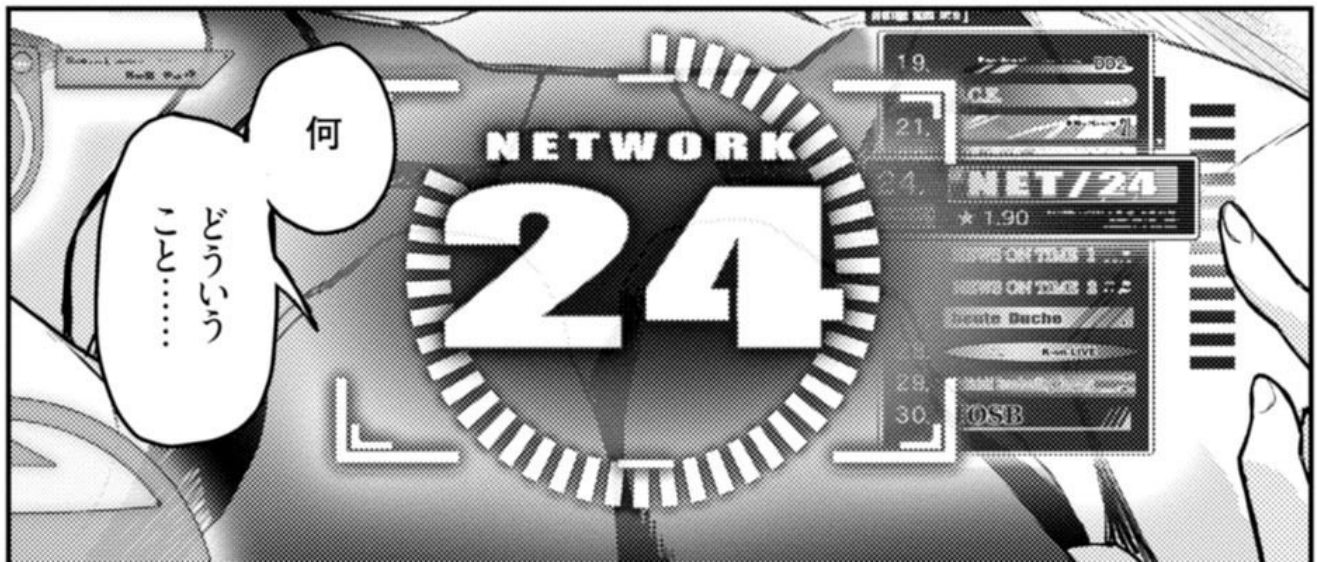
自分の意志すら
揺るがすシステムが
身体の中に築かれている

自分の脳も
自分たちが築き上げた
この社会も
信じていない連中



すぐ
見てください

ネットワーク24
緊急報道です



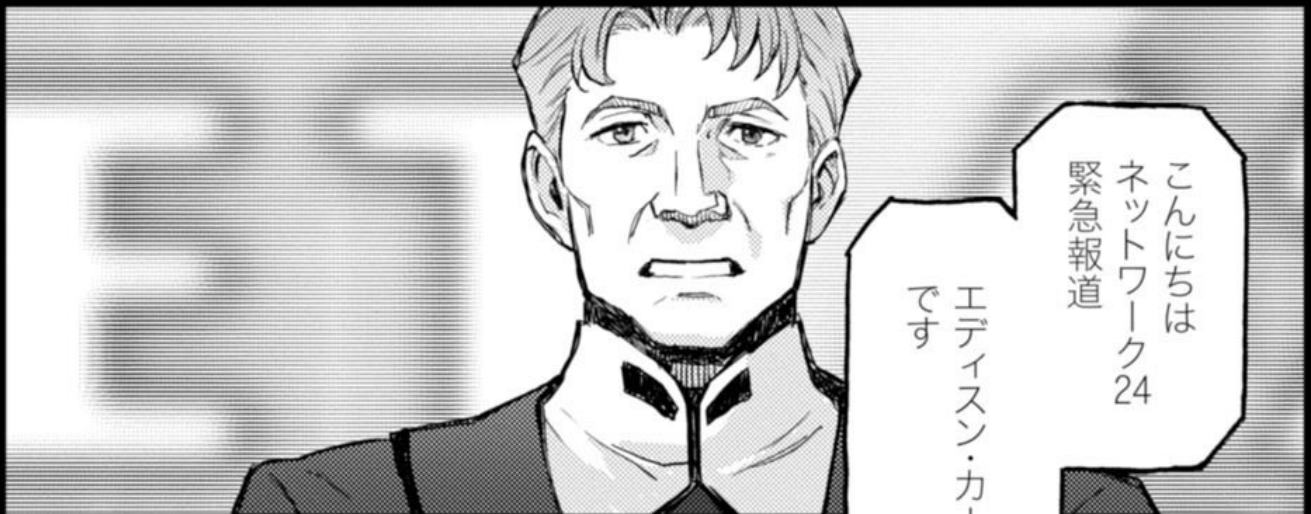
何

どうい
うこと……



犯人からの
メッセージを
放送すると
言っています

<log:media=Network24:id=225-78495hu6r-yti5h23j-09>



こんにちは
ネットワーク24
緊急報道

エディスン・カーター
です



NETWORK 24

BREAKING NEWS

Edison CARTER's Report

先日の同時多発自死事件の
犯人を名乗るメッセージが
報道局宛てに届きました

まずはお聴き頂きます
映像はありません
刺激の強い内容を含みます
充分ご注意ください



VOICE ONLY

VOICE ONLY

皆さん

VOICE ONLY

おはよう

こんにちは
こんばんは

VOICE ONLY

VOICE ONLY

この前は
大勢の人が
死にました

たくさんの人が
同時に自らの命を
絶ちました

NETWORK 24

VOICE ONLY

皆さんは
目の前で誰かが
不意に
死ぬという可能性に

大きなショックを
受けたでしょう

NETWORK 24

それは
わたしたちが
やったことです

NETWORK 24

VOICE ONLY

どうやったか
それはいまのところ
秘密です

しかし
その仕組みはすでに
皆さんの脳に
深く根をはっています

剥がすことは
できません

皆さんは
すでに

VOICE ONLY

わたしたちの
人質なのです

ARK 24

29. Worldwide
30. TOSB

<harmony/> Project Itoh



<part:number=03:title=Me, I'm Not/>

16





どこに書いてあるわけでもない

法律ですらない

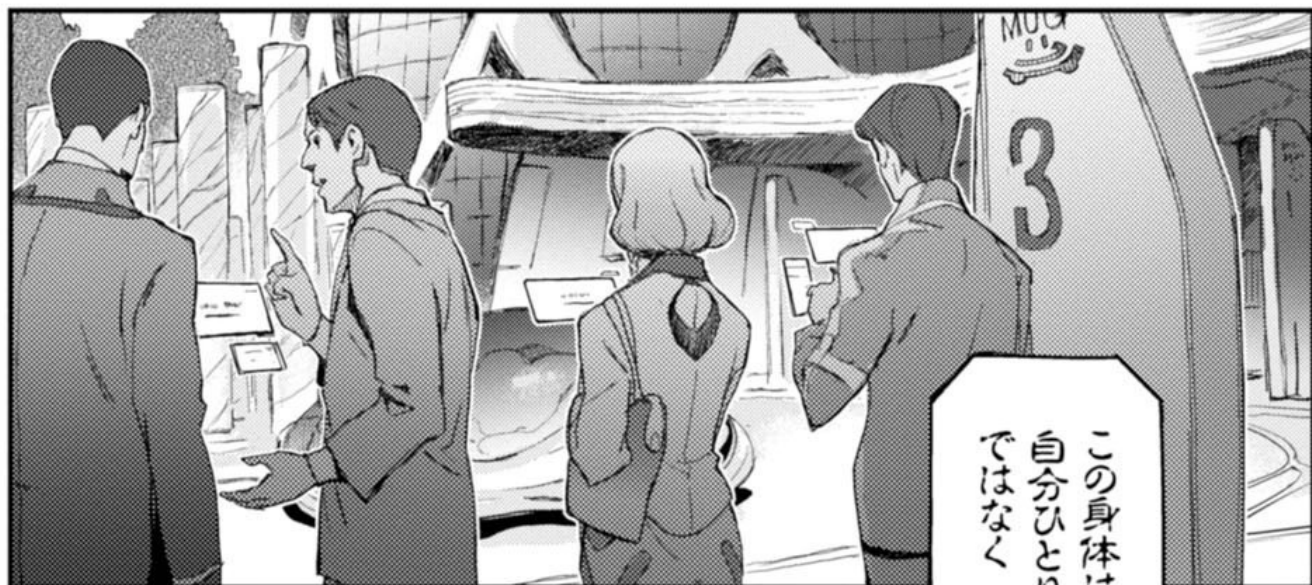
そんな
規律や『空気』に
縛られて

誰も
本音を言うことが
できません



ICE ONLY

VOICE ONLY



この身体は
自分ひとりのもの
ではなく



社会の
重要なリソース
公共的身体なのだ
という教育を

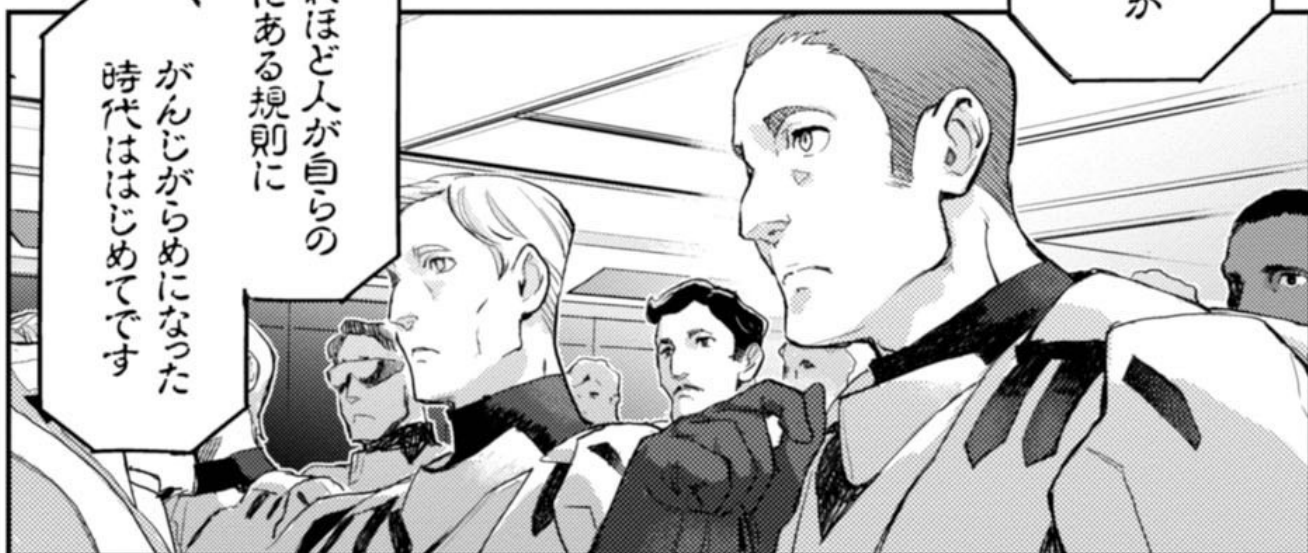
子供の頃から
受けています



自殺率の上昇は
皆さんも聞いたことが
あるかもしれません

これほど人が自らの
内にある規則に

がんじがらめになった
時代ははじめてです



これほど
明文化されていない
決まりが増えたのは

人類史上
はじめてです

皆さんはこの
『空気』に縛りつけ
られた社会から

逃げたがって
いるんです

VOICE ONLY

</log>



<log:archive=ICPO-casefiles:case=2073t413:material=007612>





これから
一週間以内に

誰か
ひとり以上を
殺してください



そのためにはまず
皆さんに
それができる人であることを
示してもらわねばなりません



自分自身の
ためならば

他者など
どうでもいい
ということを証明
してください



できない人には
死んでもらいます



いちばん大切なのは
自分の命だという
感情を
解放してください

もしあなたが
ほかの誰かの命を
奪うことに躊躇したら

たとえ自分の命を
助けるためですら
躊躇したとするなら

そのときには
わたしたちは容赦なく
あなたを殺します

自分で自分の命を
奪うように仕向けます

VOICE ONLY

VOICE ONLY

繰り返しますが
わたしたちには
それを実行できる
力があります

信じてもらえるよう
それを実証する映像を
お見せします

おそらくは
一瞬しか映りません

目をこらして
見逃さないように
してください

VOICE ONLY

VOICE ONLY

</log>

<log:media=Network24:id=225-78495hu6r-yti5h23j-09>

以上が
犯人を名乗る人物
からのメッセージ
でした



これはメモリセル
物理メディアでもって
報道局に送付された
ものであり

通常のデータ送付
のようなID表記は
ありません



なお
ファイルは
このメッセージ
のみであり

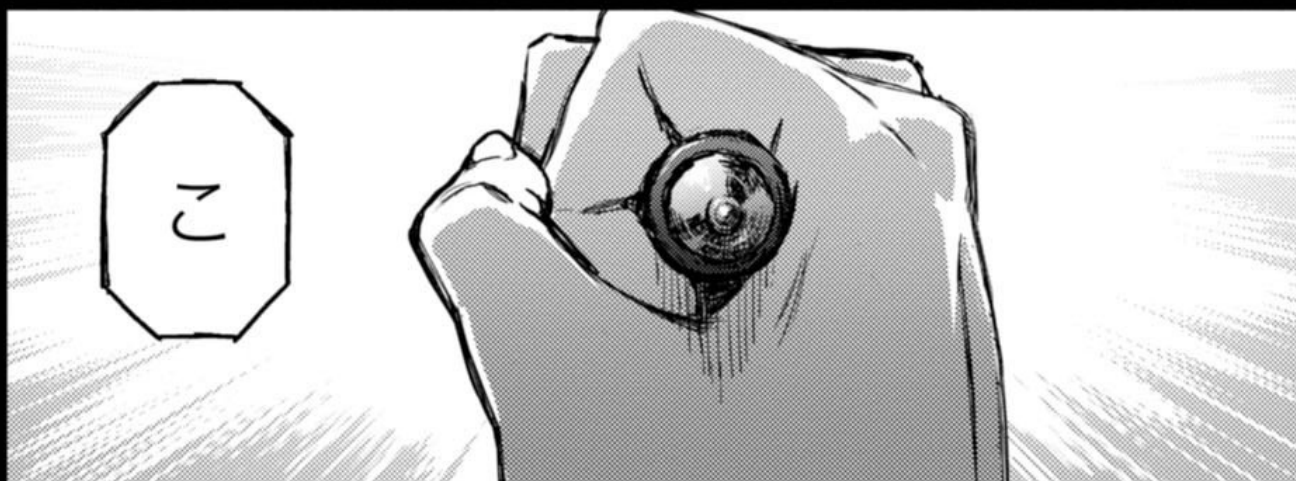
メッセージ内で
示された映像データ
ないし
それに類するものは



現時点では
送り付けられて
おりません



この
意図すると

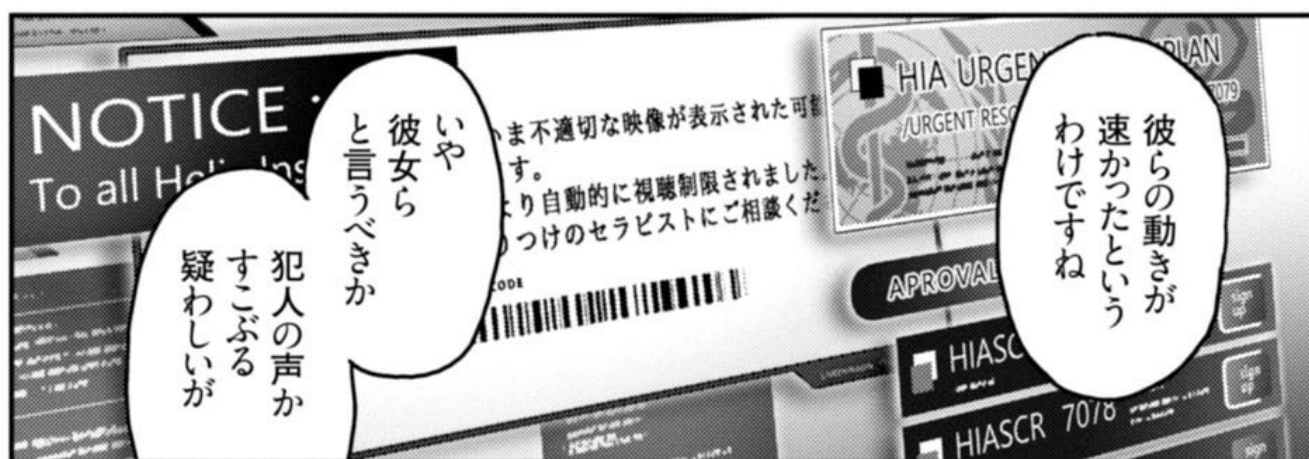


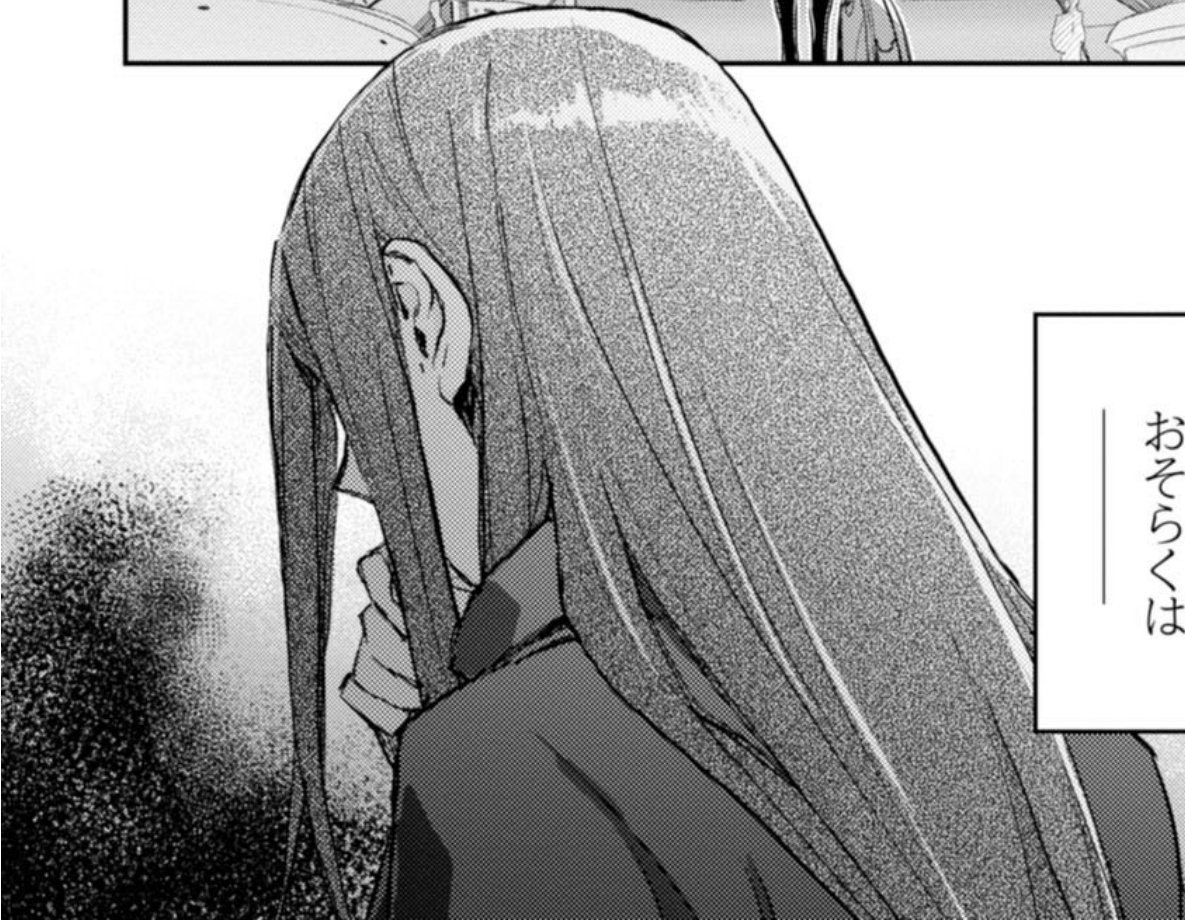
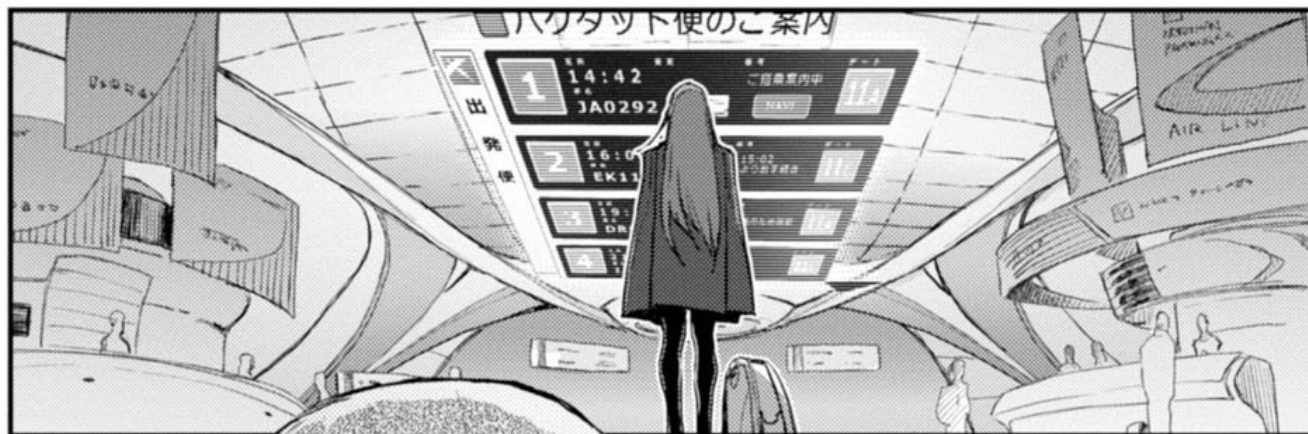
こ



</log>







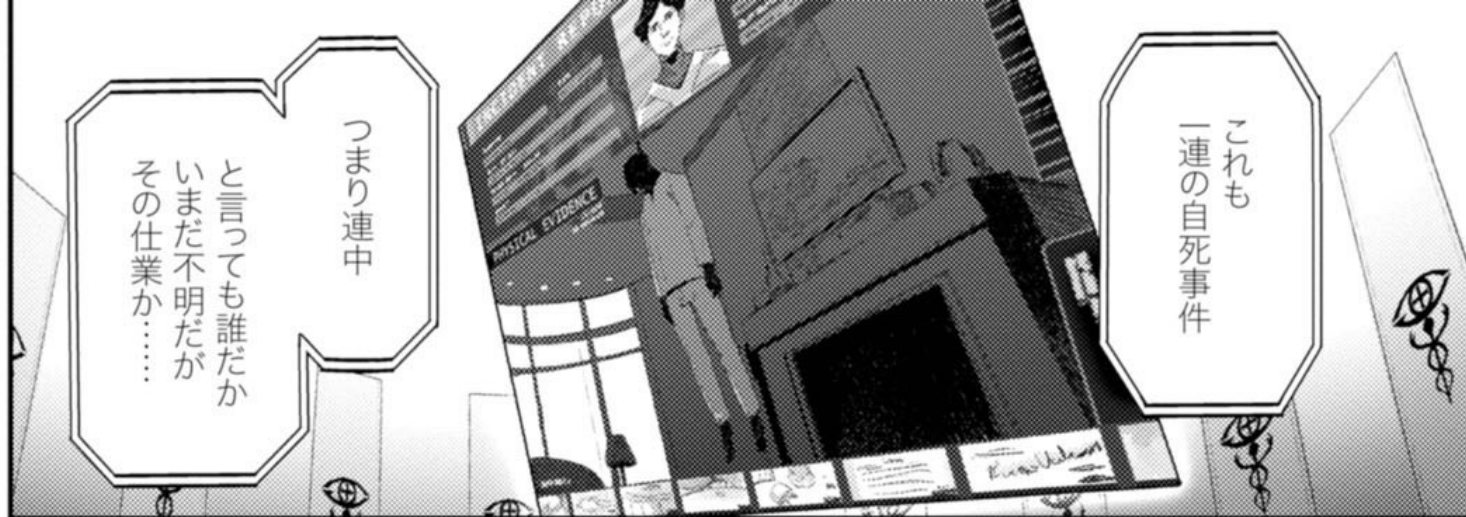
<harmony/> Project Itoh



<part:number=03:title=Me, I'm Not/>

17





<list:item>

<i:自分は誰も殺すことができないだろうということ>

<i:仮に殺した後その良心の呵責に耐えられないであろうということ>

<i:自分は確かに公共的身体であるかもしれないが、他者もまた同様であること>

<i:自害する以外に、このジレンマを解消する方法が見あたらないこと>

<i:「犯人」と名乗る連中に殺されるのはまっぴら御免であること>

<i:妻と息子、そして隣人らに対して、自殺という道を選んだことへの謝罪>

</list>



実にまずいな
連鎖が誘発されうる

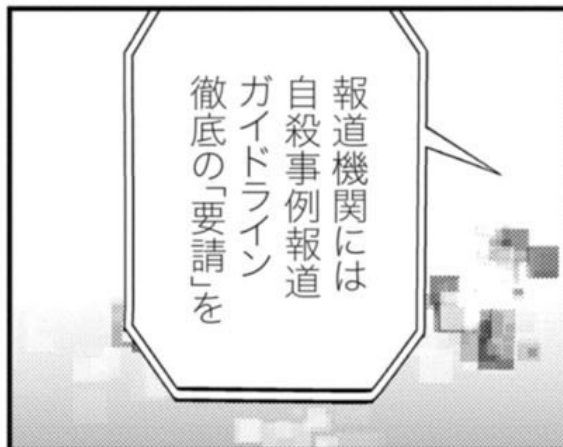
想定された事態だ
善良な生府社会市民
だからこそだ

殺す殺される
思い悩んだあげく
自ら命を絶つ



直近の
カウンセリングでも
特に異状はなく

メンタルスコアも
平均を大きく
下回るものでは
ありませんでした



報道機関には
自殺事例報道
ガイドライン
徹底の「要請」を



事実の公表には
「専門家」と連動
すること



「専門家」とは
螺旋監察官です
よろしいですね

ウェルテル効果

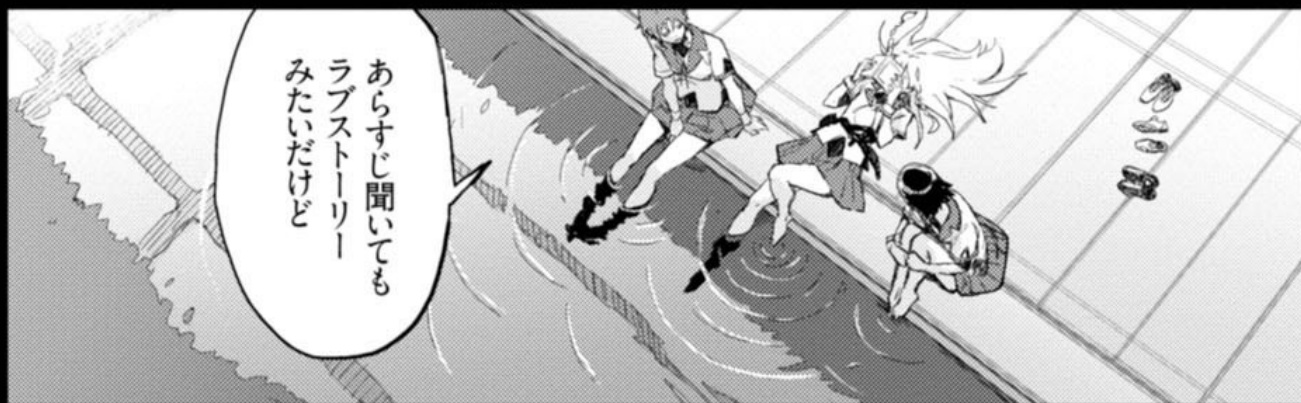


何人もの人間を
殺したんだ

この本って
すごいんだよ



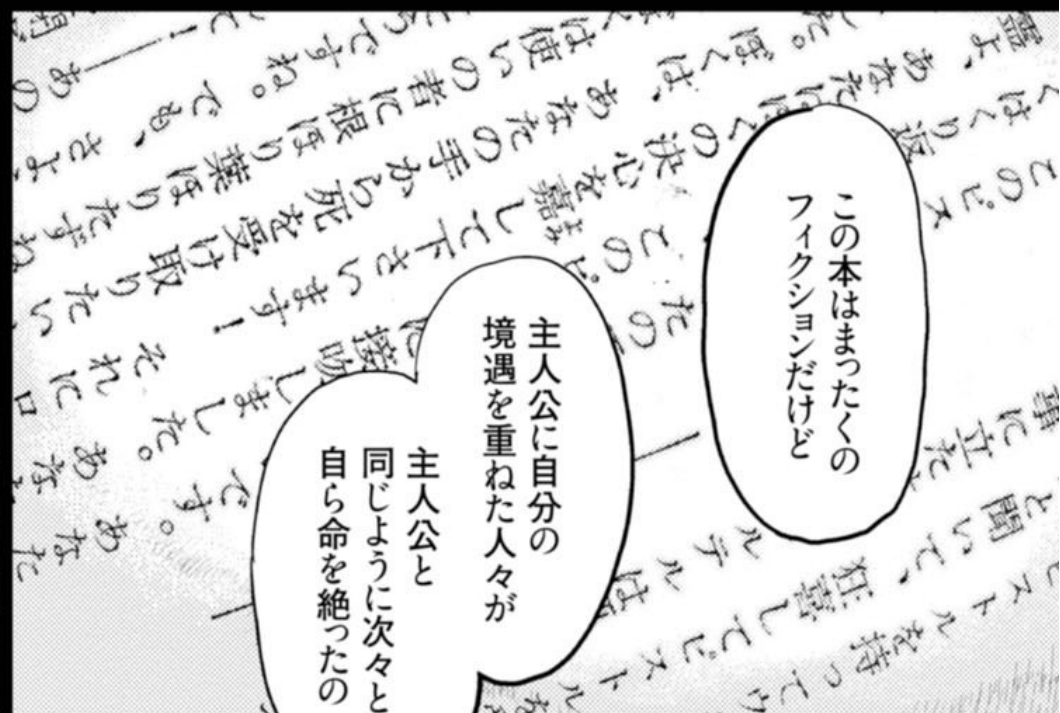
「若きウェルテルの悩み」



あらずじ聞いても
ラブストーリー
みたいだけど



すごいでしょう
トアン



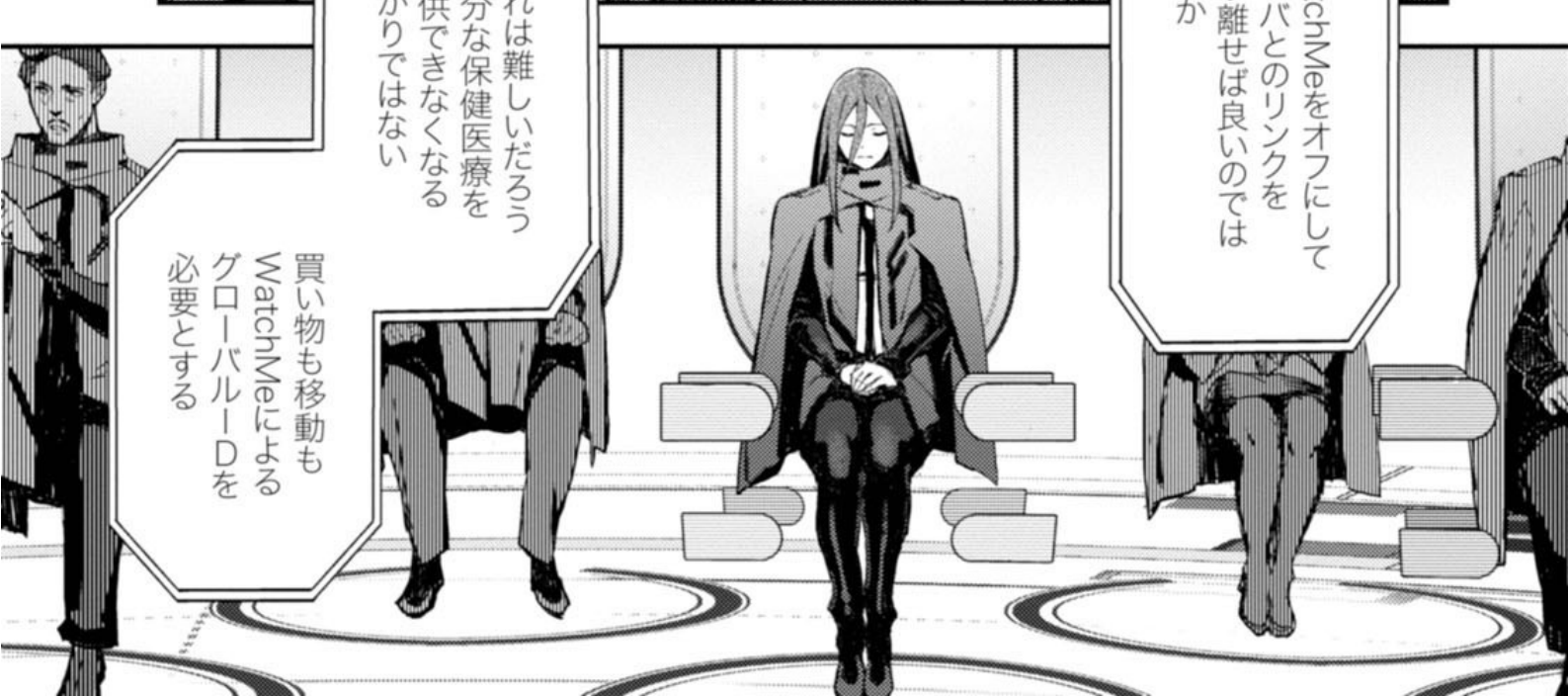
この本はまったくの
フィクションだけど

主人公に自分の
境遇を重ねた人々が

主人公と
同じように次々と
自ら命を絶ったの



</recollection>



食べ物を得るのも
家に入ることも
できないだろう

危険にさらされる
人命も
六五八二人の比較に
ならない

将来の保障
共同体と
それに属する
他者との信頼

ヒッチホーム
倫理セッション
相互扶助と介助

異分子が跋扈
しているは
成立しない社会だ

スクナビコナはまだ
セキュリティホールを
解明できないのですか

脳に何か
作用したとしか
言いようがない

問題は
その作用だ

人為的な意図が
介入していることは
明白だ

閑散とした街を
見たか

不安が経済を
停止させている

恐慌寸前だ
いつ誰が誰を
襲うか知らない状況が
続くものならばな



現時点で
犯人に繋がる
ものではないと
……

そうであるとしても
なお多くの応用研究を
当たっていく必要が
あるでしょう

では
こここのところの
あなたの行動は
何だと言いつの

随分と
確信めいたものを
感じるのだけど



より詳しい人物に
コンタクトを図って
いるだけです

確かな情報が
あるわけでは
ありません

何が確かで
何が
そうでないかは

わたしが判断
するべきです

報告します
至急



他に足がかりが
ない以上もつと
人員を割くべきだ

情報を共有した
ほうがいだろう





「当生府は今後懸念される
生命権侵害の不安を鑑み

生府合意員生活圏においても
ジュネーブ条約軍に
その責務を全うすることを
希望する」



その合意員が
有効な合意に達した
と宣言しました

キャリコ
エコシステム
北中米の地域生府です



つまり

我々の医療軍を
街中に展開しろと



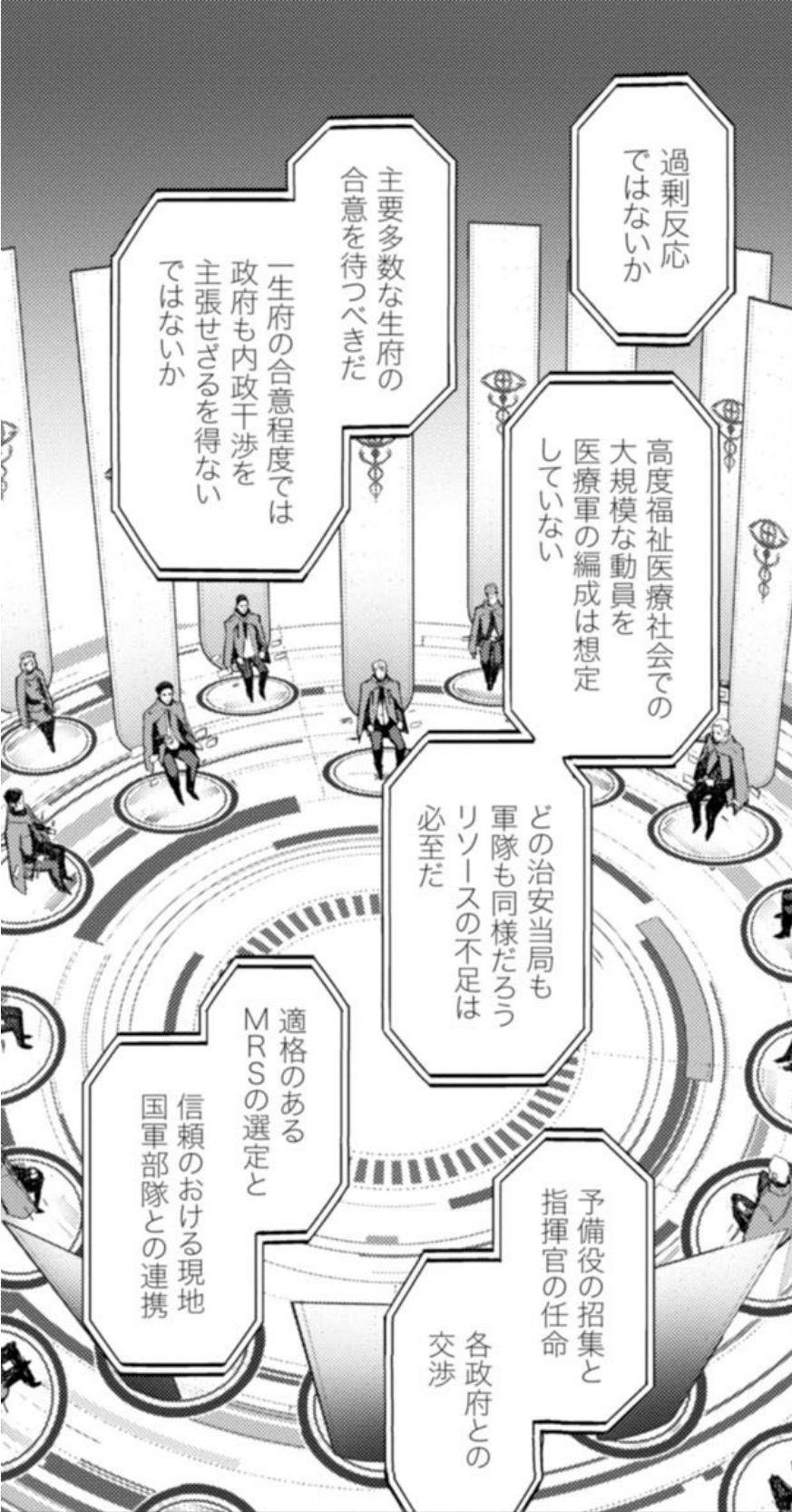
ええ

各地の即応部隊に
治安維持任務の
準備をさせましょう
本格的な動員は
ともかくとして

各国政府及び
統治理事会には
戒厳令の発布を
求めています

大手生府の合意率は
一割程度ですが
きっかけがあれば
一斉に
合意へと至るでしょう

他の全生府に
同生府名義で発議し
同調を促しています







急がなければ
ならない

「空気」の下
潜んでいた怪物が
むき出しになる前に



これで

猶予期間が
変わらないという
しほしの保証を
得たわけだ

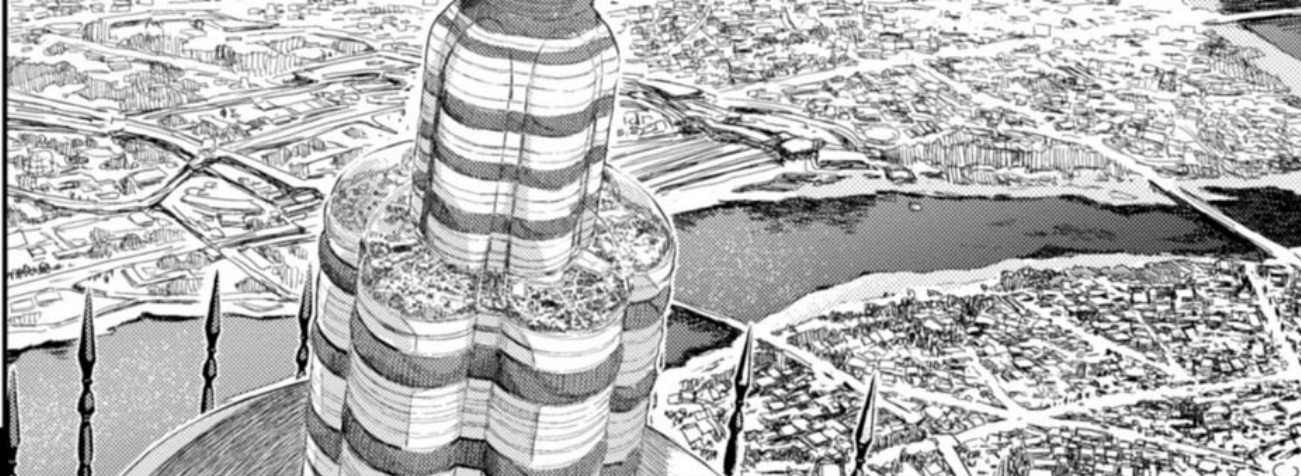
はあ



ハロウィン

BirdRiderより
お知らせいたします

ノーザンパッセンジャーズ
DR947便
医療都市バグダッド行き
まもなく到着いたします

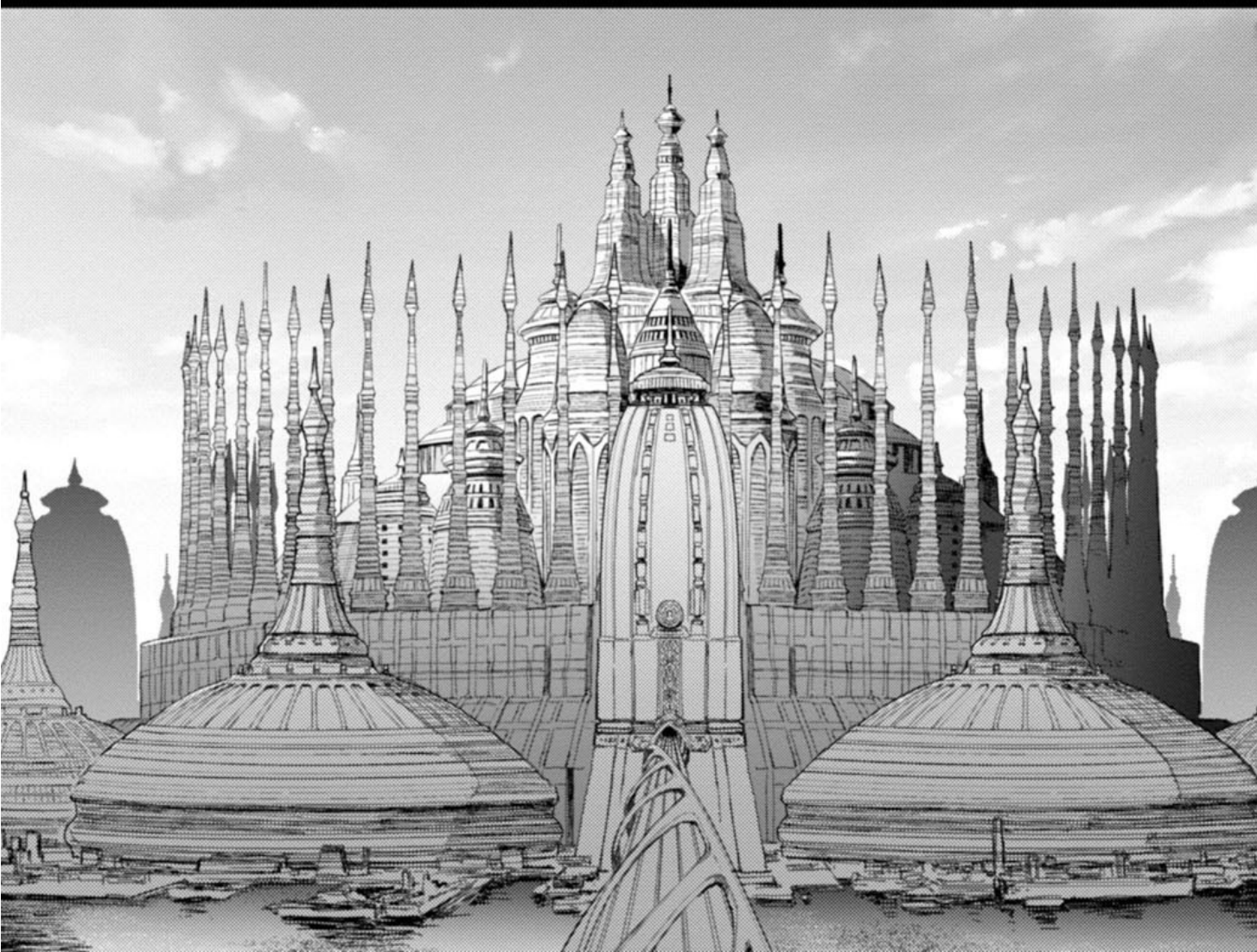


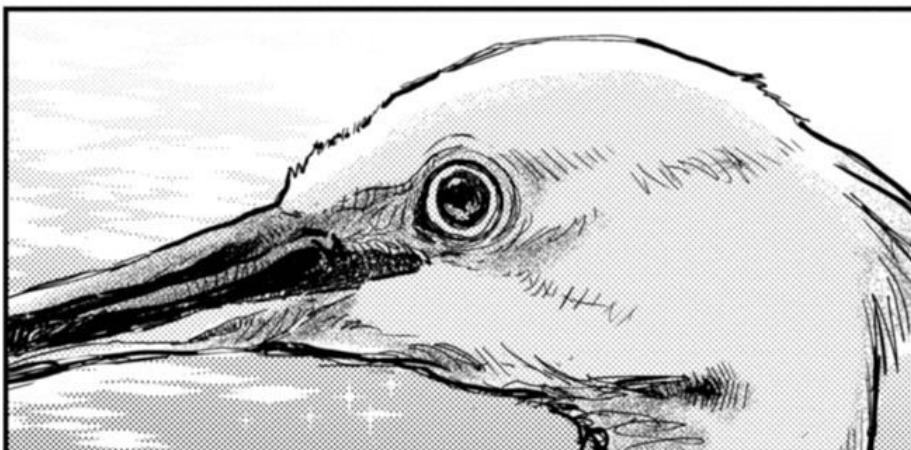
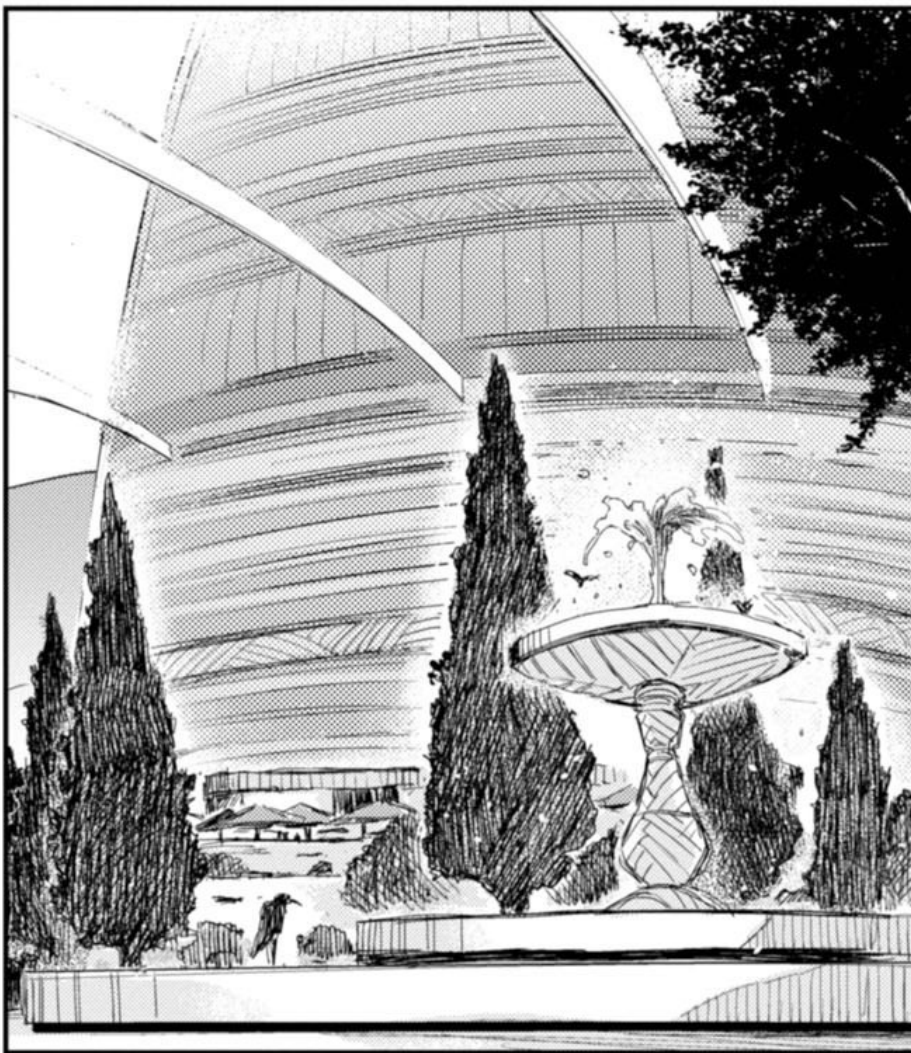
<dictionary>

<item> 【バグダッド】 </item>

<description>イラクの都市。イラク中央部メソポタミア平原に位置する。アッバース朝に建造された古い都であり、今世紀初頭の紛争と〈大災禍〉で壊滅状態に陥ったが、現在は「ディアン・ケヒト」と呼ばれる巨大施設を中心に医療資本が集中する大都市に変貌。医療資本を優遇する税制と人間を被験者とする医療実験に寛容な法のもとで、医療産業複合体や医療シンクタンク、研究機関が競って本拠地を置いたため、「医療のドバイ」とも呼ばれた。</description>

</dictionary>

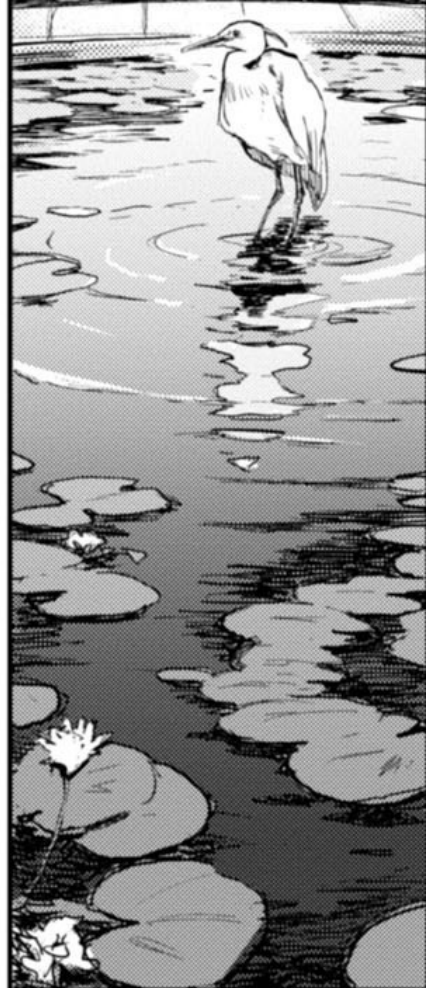






庭園にいますと

ここが建物の中だといふことを忘れてしまうでしょう……



はじめまして

SEC脳医学
コンソーシアム
ガブリエル・エーデイン
です

螺旋監察官が
急にいらっしゃるなんて
つきり抜き打ちの
査察なのかと
思いましたわ

<harmony/> Project Itoh



<part:number=03:title=Me, I'm Not/>

18





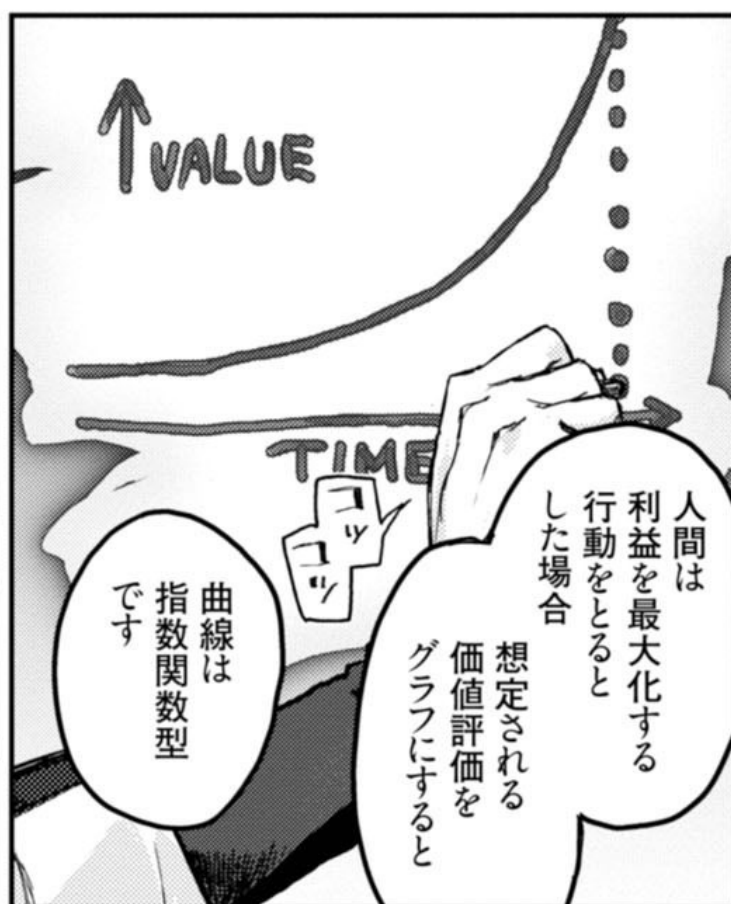
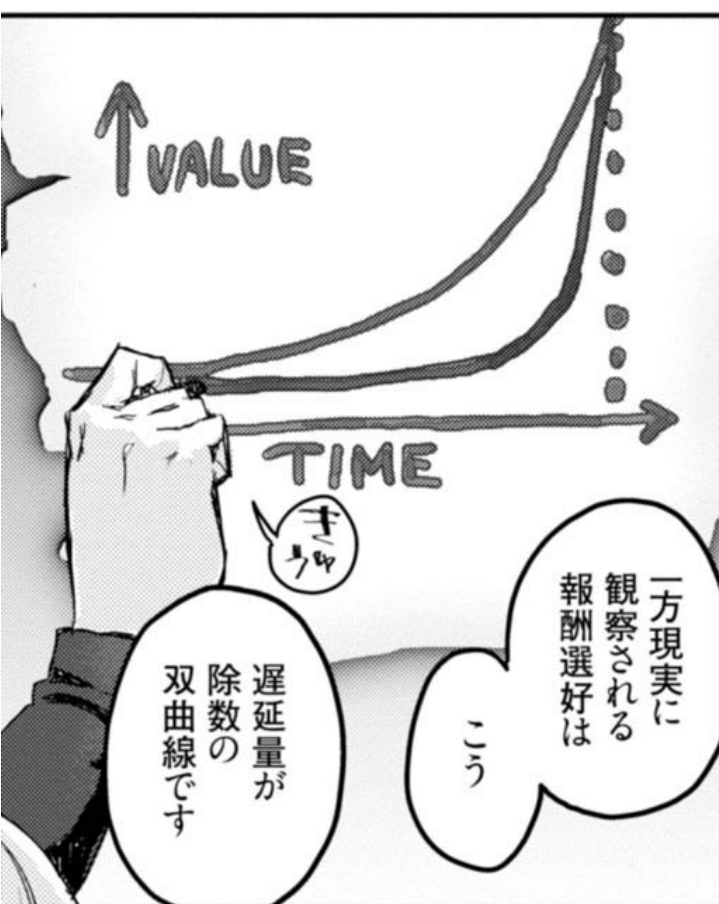


例えば

今すぐ手に入る
一万クレジットと
明日手に入る
一万クレジット

当然今すぐ
手に入るほうが
魅力的に感じる

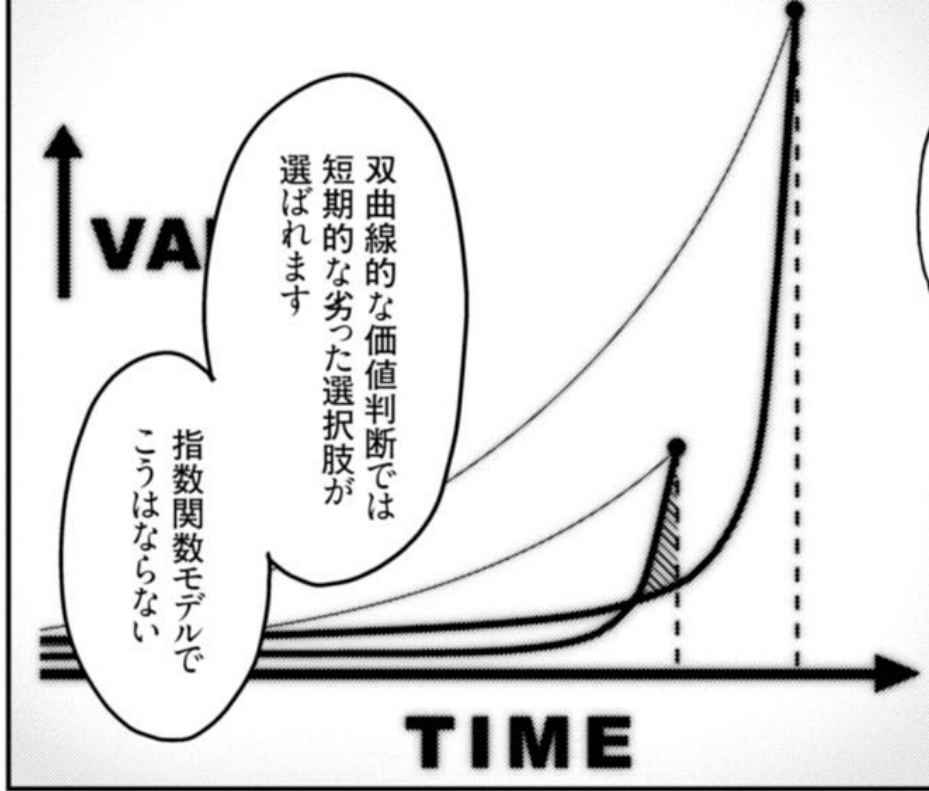
しかし
一年後と二年後では
それほど価値が
目減りしたように
感じない



人間と多くの動物は
価値を評価する時
将来に向かった価値の
減り方を双曲線的に
感じる傾向がある

逆に言えば
目の前の利益だけを
極端に大きく評価する

霊長類はもちろん
ハトやキジ犬猫でも
確認される
欲求の性向です



我々は実験結果に基づき
この双曲線割引を
モデルに組み込むことで

より実態に近い
「意志」の在り様を完成
しようとしている

これが
研究の概要です



先日の自死事件では
脳に何らかの介入が
あったとみられます

博士の研究分野は
この事件に接近した
ものに感じますが

いかがですか

確かにそうかも
しれませんね

それが
本題かしら

しかし

此度の事件と
我々の研究を
結びつけるのは
いかにも迂遠ですね

心理的薬理的に
意識状態を変性
させたと考えるのが
自然では……

その痕跡は
なかったの
ですか……





あなたコーヒーを
見たら怒るような人
だったかしら

いえ
お気になさらず

むしろ
好きなほうです



ああ



ええ
初期には

霧慧博士が
おられたのは
かなり前の話です



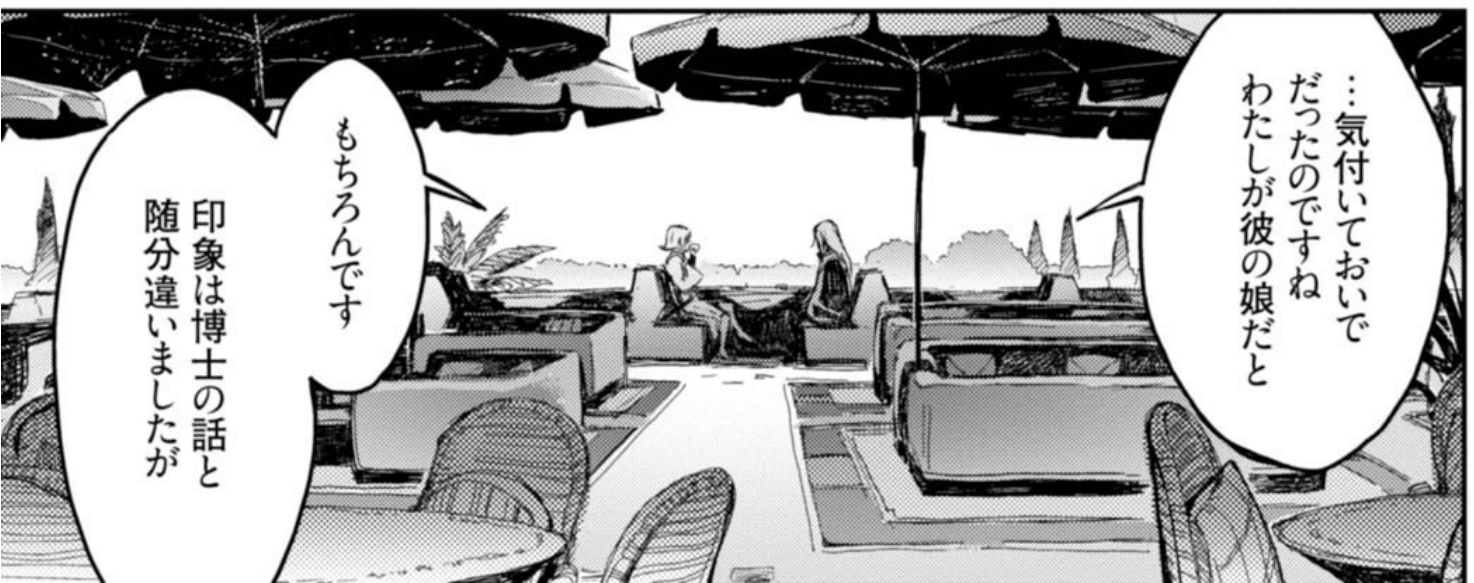
.....
父は娘に対して
そのような感性を
持ち合わせては
いないでしょう



そう良かった

霧慧博士もよく
嗜んでおられました

ご息女が
螺旋監察官だからといって
理不尽な否定をされたら
悲しまれたでしょうから



：気付いておいで
だったのですね
わたしが彼の娘だと

もちろんです

印象は博士の話と
随分違いましたが

学生時分
お世話になった頃
あなたのことも
聞きました

おとなしくて
甘えん坊なので
心配だったとか

彼は
報酬系モデルを基に

他の研究をしては
いませんでしたか

分かりかね
ますね

螺旋監察官を
動かすほどの
具体的な何かが
あるのですか

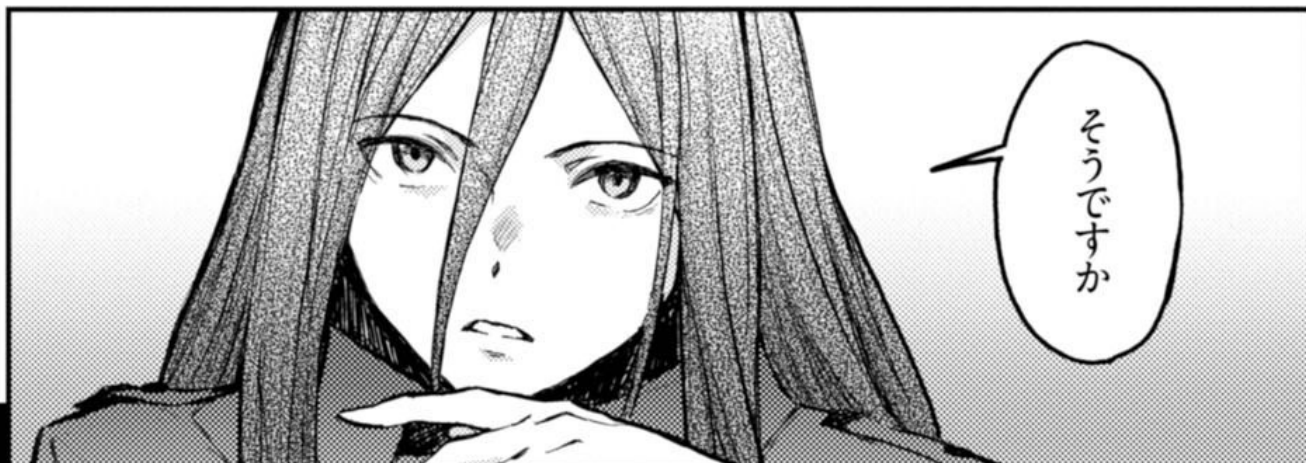
それともまさか
個人的な人探し
かしら……

あくまで
捜査対象の
ひとつです

WHOは
対象の身内を
担当者にする
とおっしゃる

……
しかし残念ながら
お役には立てませんね

我々も博士の現在は
皆目見当が付きません
ので



</distrust>



人間の意志だけでなく
意識の在り方に関する
より多くの応用が利く
モデルを提供できる
ということでしょうか





しかし
意図的行動で観察される
報酬選択プロセスは

ごく短い双曲線
という形で
視覚聴覚臭覚といった
感覚にも適用される

我々のモデルが応用
できるでしょう



意識というものは
主観的なもの
内的な経験であり

一般の物理現象を
把握する仕方は
馴染まない

かといって

内省によつて
導き出されるものに
普遍性はない



感覚も意志によつて
選択されていると……

例を挙げるならば
痛みですね

痛み……

わたしは『報酬』という
言い方をしましたが
これは一般的な用法
とは違います



でも
痛みは否応ない
ものですよね……

何かに関心が
集中している時
痛みに気付かなかつた
なんていう話

聞いたことは
ありませんか



関心を引き
強く印象づける
心理作用のことを
『報酬』と呼ぶのです

痛みもまた脳内で選択され
印象づけることを狙う
エージェントにすぎないの
です



エンドルフィンの
麻酔効果も
ありましようが

これは
痛みの報酬エージェントが
他の関心のエージェントに
競り負けたということです

意図した選択はもちろん
抗いがたい衝動などより
ずっと時間軸の短い双曲線
ですので選好自体を
直感させませんが

これらの本質は
動機づけを狙うエージェント
という点で同じものです



我々の現実を形成する
すべての感覚が
選択された
エージェントの集合

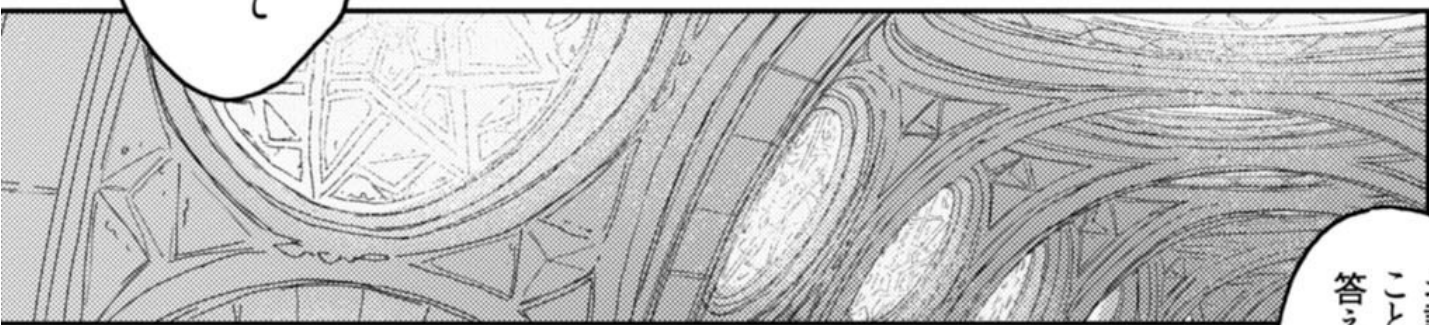
視覚聴覚臭覚味覚
そうした刺激も
選択されなければ意識に
昇ってくることはない

もつとも
そうした刺激は常に選択
されやすい双曲線の様相を
みせますので
滅多に無視されませんが



ここでの研究は
ある意味
我々の意識だけでなく

現実がどう構成されて
いるのかといった
形而上的な意味すら
持ち得るわけですね





ところで

エーディンさんご自身は
どうなさいますか
犯人が宣言した期限の
訪れる日まで



犯人は実際に人を
自殺に導くことが
できるのかもしれない

ネットワーク24の
キャスターのように



どうもいません

あんなの
脅しにすぎない
でしょう



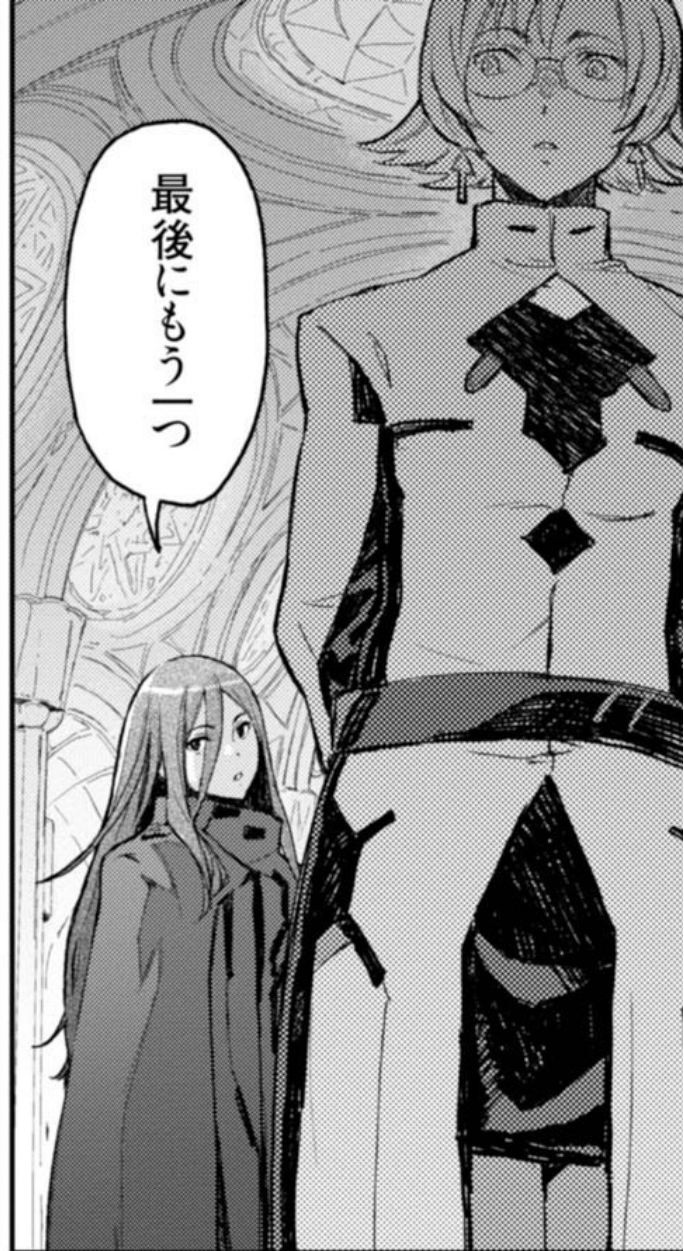
それこそ
生府の合意員たちが
公共的な勇気を示す
べきでしょう

我々の社会は
誰にも屈しないと

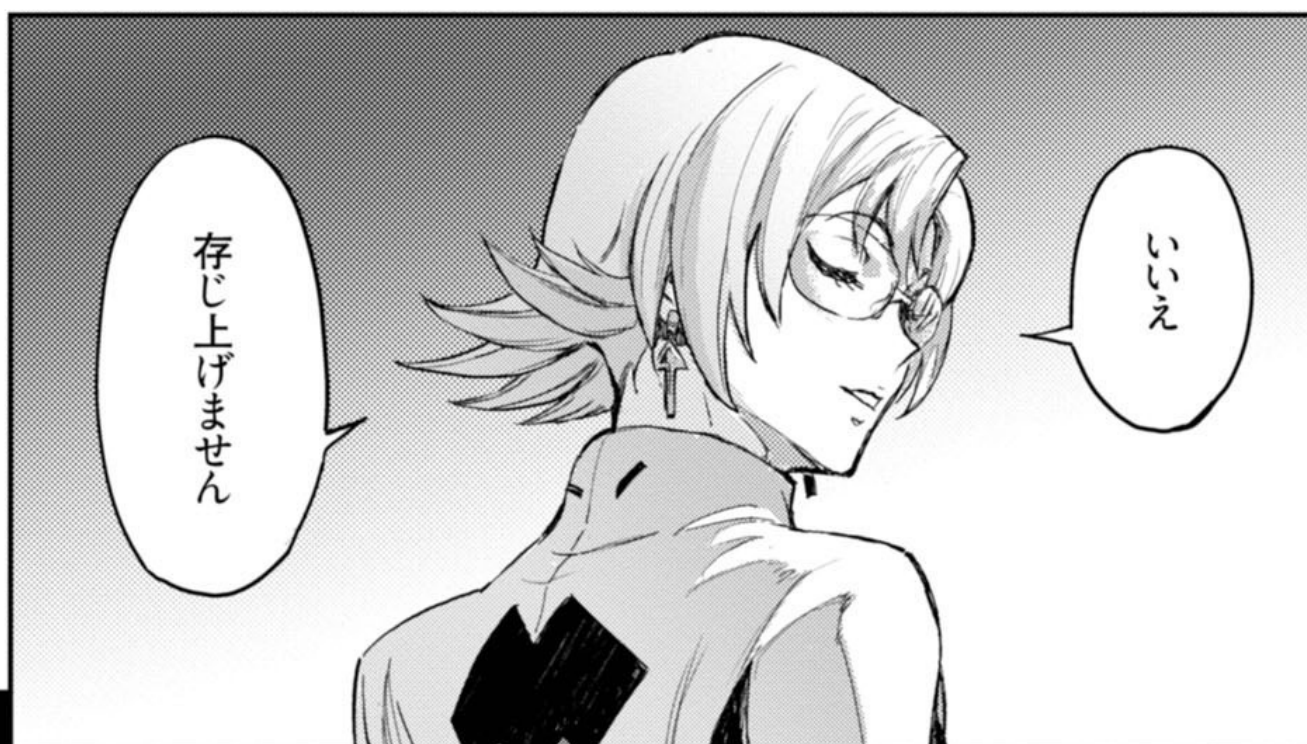
では
失礼しますね



〈次世代ヒト行動特性
記述ワーキンググループ〉
という研究グループを
エーディンさんは
ご存じですか

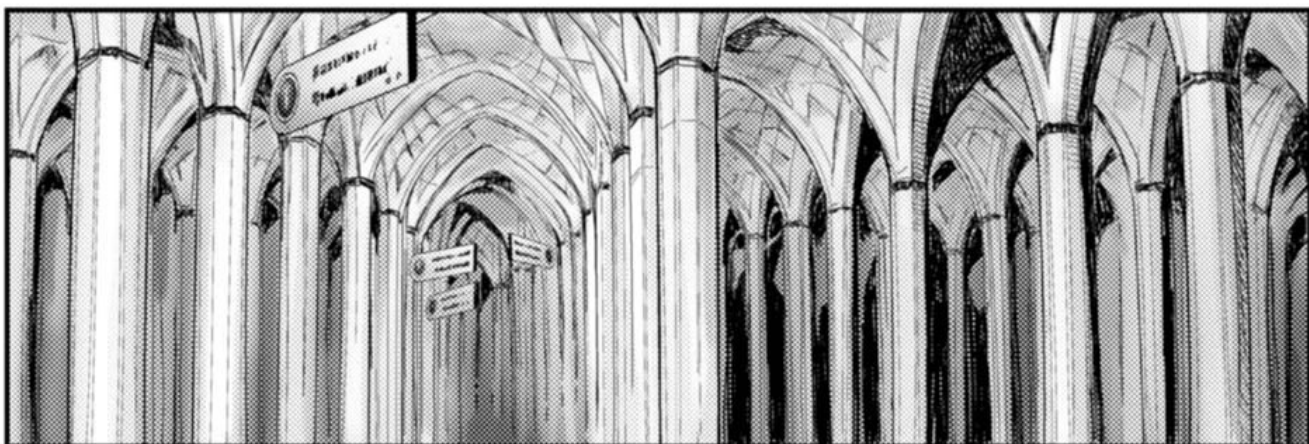
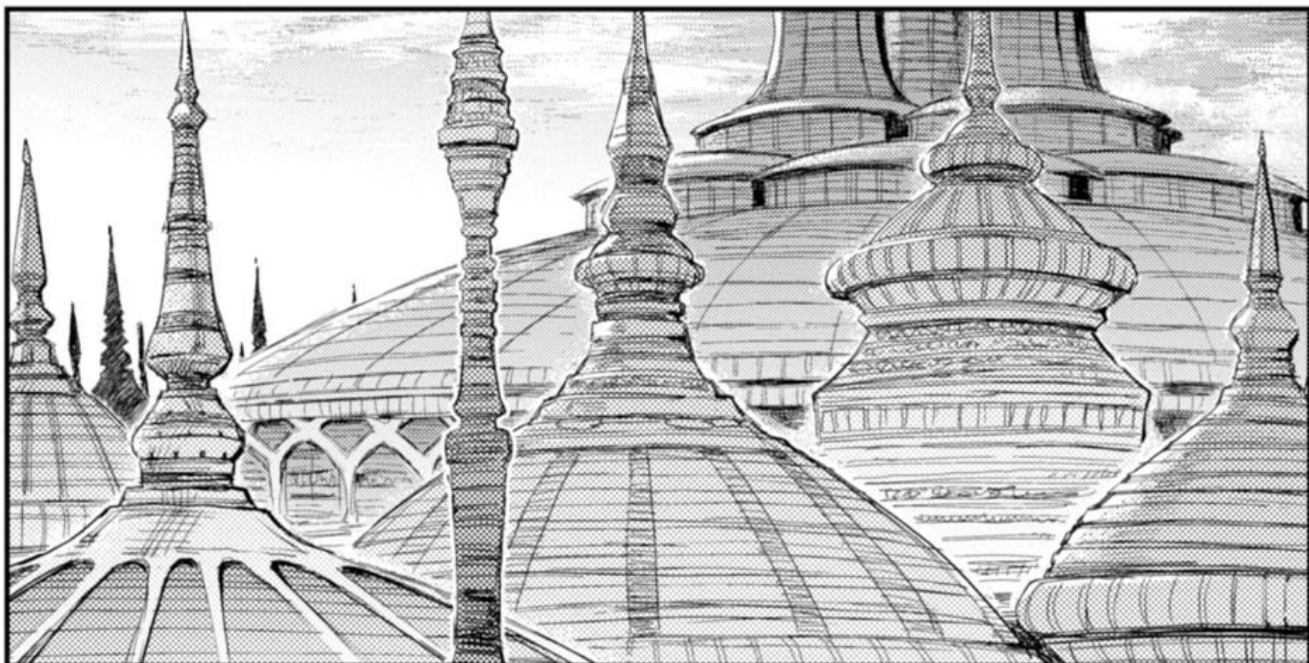


最後にもう一つ



いいえ

存じ上げません







周辺に捜査が
及ぶことに
よってね

不躰だ
こと

監視下に
あったわけだ



まあ
そうだろう

ミアハの名前を
出さなかったのは
やはり正解だった
……

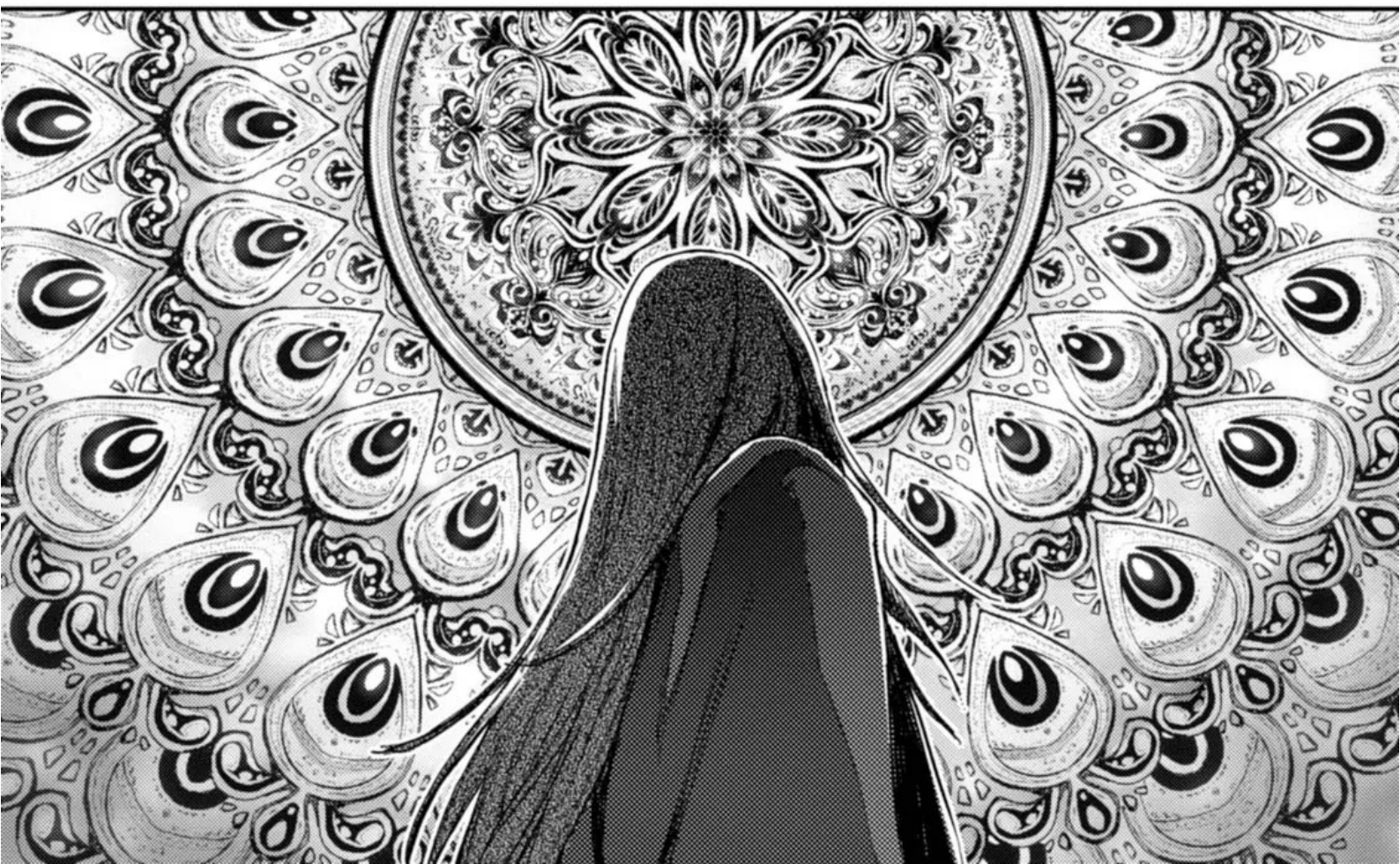
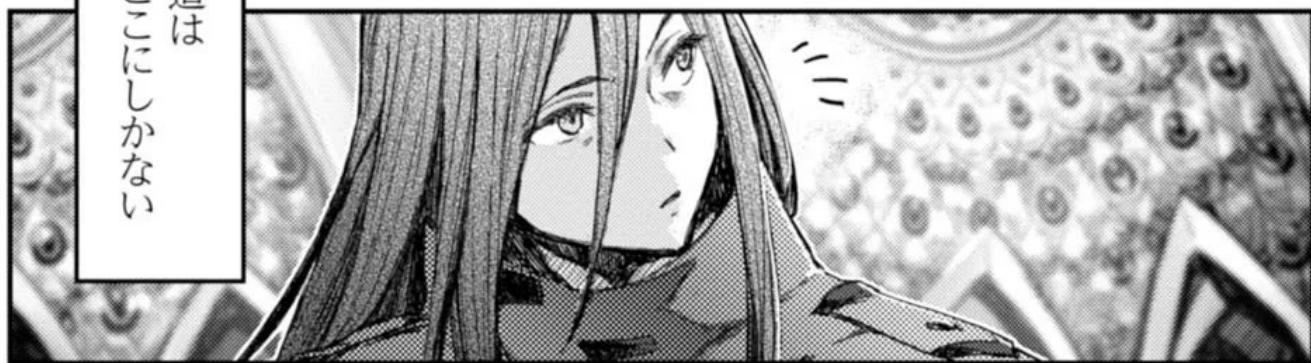
正当な職務行為
ですので
ご理解を賜ります

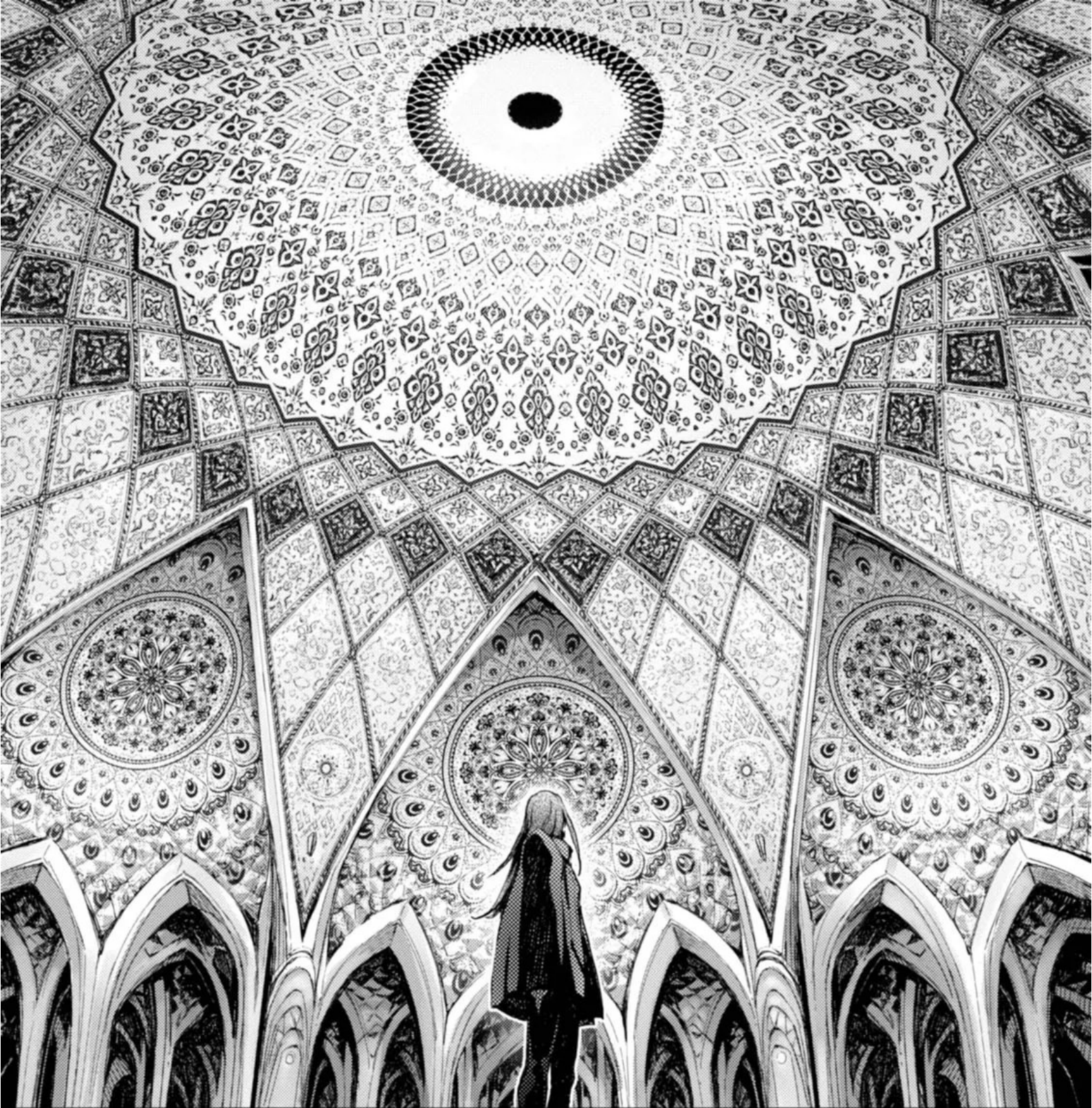


事態は切迫している
連中は何らかの行動を
起こすかもしれない

充分に
警戒されたほうが
いいですよ

霧慧監察官





<log:media=Netz360:id=812futk85-56kc0bwt-09>



世界中で
混乱が
広がっています

ARTUELLLES

Das System unter Angriff
Wie zuverlässig Rückkehr?

WHO.GENF

Freya EHRlich

NETZ
SWISS

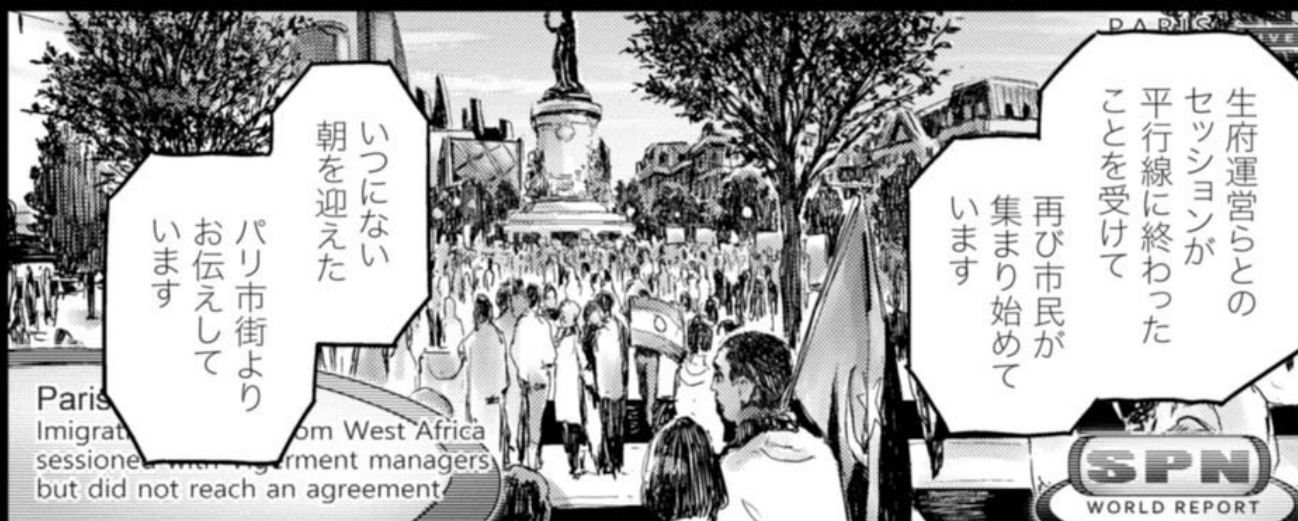
</log>

<log:media=ChannelOnce:id=81549txf6-i9i2ccyk-09>



</log>

<log:media=SPN-WorldReport:id=843f0aq0h-t1j2y37j-12>



</log>

<log:media=SBMC-HealthInformation:id=8494ahyf5-1kj7s7wj-11>



</log>

<log:media=OneWorld:id=81549txf6-i9i2ccyk-09>



</log>

<log:media=DongYaBaoyeNewsService:id=843f0aq0h-t1j2y37j-12>



</log>

<log:media=LazoCommunications:id=8494ahyf5-1kj7s7wj-11>



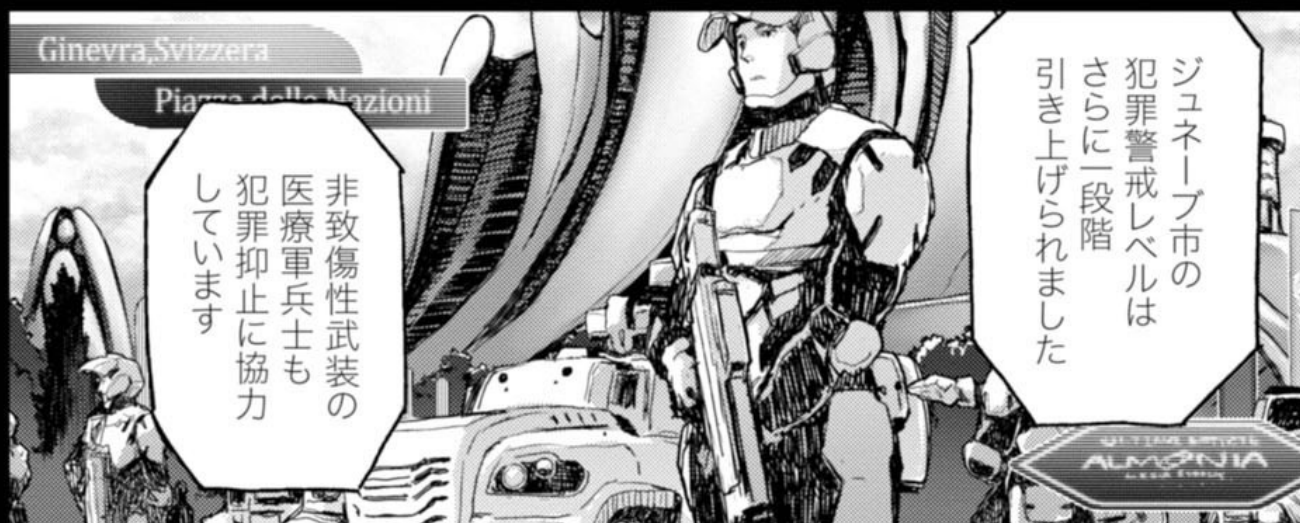
</log>

<log:media=Network24:id=85a07vq80-58kvy94m-14>



</log>

<log:ArmoniaNA:id=85y645jfb-t66kh4zc-04>



</log>

<log:media=NetPacificom:id=860hh2uf9-11tt2jqn-11>



</log>

<log:media=BangaloreGBA:id=86u51fxr6-ir42cprk-03>



</log>

<log:media=DouzemilleActualites:id=86ya9t12a-k18gv359-09>



</log>

角川コミックス・エース

ハーモニー(2)

原作:伊藤計劃／Project Itoh

漫画:三巷文

2017年2月25日 発行

©MINATO FUMI 2017

©Project Itoh/HARMONY

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
角川コミックス・エース『ハーモニー(2)』
2017年2月25日初版発行

発行者 青柳昌行

発 行 株式会社KADOKAWA

〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3

電 話 0570-002-301 (カスタマーサポート・ナビダイヤル)

受付時間 9:00～17:00 (土日 祝日 年末年始を除く)

編集企画 コミック&キャラクター局

ニュータイプ編集部

<http://www.kadokawa.co.jp/>

本作品の全部または一部を無断で複製、転載、配信、送信したり、
ホームページ上に転載したりすることを禁止します。
また、本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
本作品購入時にご承諾いただいた規約により、有償・無償にかかわらず
本作品を第三者に譲渡することはできません。
本作品を示すサムネイルなどのイメージ画像は、再ダウンロード時に
予告なく変更される場合があります。
本作品の内容は、底本発行時の取材・執筆内容に基づきます。

また、ご覧になるリーディングシステムにより、表示の差が認められることがあります。

この物語はフィクションであり、実在の人物・団体とは関係がございません。

装幀・デザイン 草野剛